

2012 年度台湾における対日世論調査

2013 年 3 月
公益財団法人 交流協会

ニーセル社に委託して、対日世論調査を実施したところ、結果は以下の通り。

調査設計

調査手法: 調査手法: インターネットによるアンケート+コンピュータ補助システムによる電話アンケート (Web+CATI)

- インターネットアンケート: 40 歳以下の対象者に限定
- コンピュータシステムによるアンケート: 40 歳以上の対象者に限定

ターゲット対象者: 20-80 歳の男性/女性。

サンプル数: 計 1,002

- 統計学上ではサンプル数が 1,000 の時、誤差は±3.10%以内に抑えられ、調査結果はメディア報道に際しての信頼性を満たしている。
- インターネットアンケート: 414
- コンピュータ補助システム電話アンケート: 588

研究地区: 台湾全域

アンケート内容量: 12-15 分間

調査日: 2013/1/11~2013/1/27(但し、2012 年度における実施のため、表題は「2012 年度台湾における対日世論調査」とする)

サンプリング方法: 人口に比例した性別、地域、年齢別のサンプリング。

- 40歳以下の回答者はニーセル社のSSI Panelによるランダムサンプリング。
- 40歳以上の回答者は電話アンケートによるランダムサンプリング。

サンプル加重平均設定:

本調査は先に 1002 件のサンプルを完成し、さらに台湾の人口分布をベースにして、サンプル加重平均設定をして、今回の調査を代表する母数を得た。加重後のサンプル:

	Total	年齢				
		20-29	30-39	40-49	50-64	65-80
実際の数	1,002	194	220	215	261	112
加重した結果('000)	17,370	3,363	3,826	3,719	4,508	1,954

	Total	性別	
		男性	女性
実際の数	1,002	501	501
加重した結果('000)	17,370	8,612	8,758

	Total	地区			
		北部	中部	南部	東部
実際の数	1,002	430	252	275	45
加重した結果('000)	17,370	7,452	4,298	4,849	772

北部	男性		女性	
年齢	実際の数	加重した結果('000)	実際の数	加重した結果('000)
Total	220	3,619	210	3,833
20-29	38	721	44	694
30-39	47	825	50	870
40-49	46	789	48	845
50-64	64	936	50	1,022
65-80	25	348	18	403

中部	男性		女性	
年齢	実際の数	加重した結果('000)	実際の数	加重した結果('000)
Total	121	2,170	131	2,128
20-29	25	453	26	428
30-39	27	473	28	463
40-49	27	460	27	440
50-64	33	541	29	527
65-80	9	243	21	271

南部	男性		女性	
年齢	実際の数	加重した結果('000)	実際の数	加重した結果('000)
Total	136	2,429	139	2,420
20-29	30	472	22	448
30-39	31	523	28	517
40-49	29	520	29	502
50-64	28	640	45	642
65-80	18	275	15	310

東部	男性		女性	
年齢	実際の数	加重した結果('000)	実際の数	加重した結果('000)
Total	24	395	21	377
20-29	4	77	5	71
30-39	5	81	4	75
40-49	6	86	3	76
50-64	5	101	7	99
65-80	4	49	2	55

回答者の基本データ

	2012	2011		2012	2011
性別	%	%	最終学歴	%	%
男性	50	50	中卒或いはそれ以下	13	8
女性	50	50	高校／技術高校卒	24	24
年齢			大学／専門学校／技術系大学卒	51	56
20-29 歳	19	22	大学院或いはそれ以上	11	12
30-39 歳	22	22	職業		
40-49 歳	21	23	正社員	55	58
50-64 歳	26	23	アルバイト	7	6
65-80 歳	11	11	主婦	15	11
地区			学生	6	7
北部	43	43	無職／フリーター	6	5
中部	25	25	退職	12	13
南部	28	28	家庭全体の月収		
東部	4	4	台湾ドル 24,999 元或いは以下	10	7
結婚状況			台湾ドル 25,000 元 ～ 49,999 元	20	18
未婚	34	39	台湾ドル 50,000 元 ～ 99,999 元	33	35
既婚	63	59	台湾ドル 100,000 元 ～ 139,999 元	15	17
離婚／別居	2	2	台湾ドル 140,000 元 或いは以上	13	12
寡夫／寡婦	1	1	収入なし	3	2
			回答拒否	3	4
			不明	3	5

実際のサンプル数:訪問を受けた人全数(2012:1,002 / 2011:1,009)

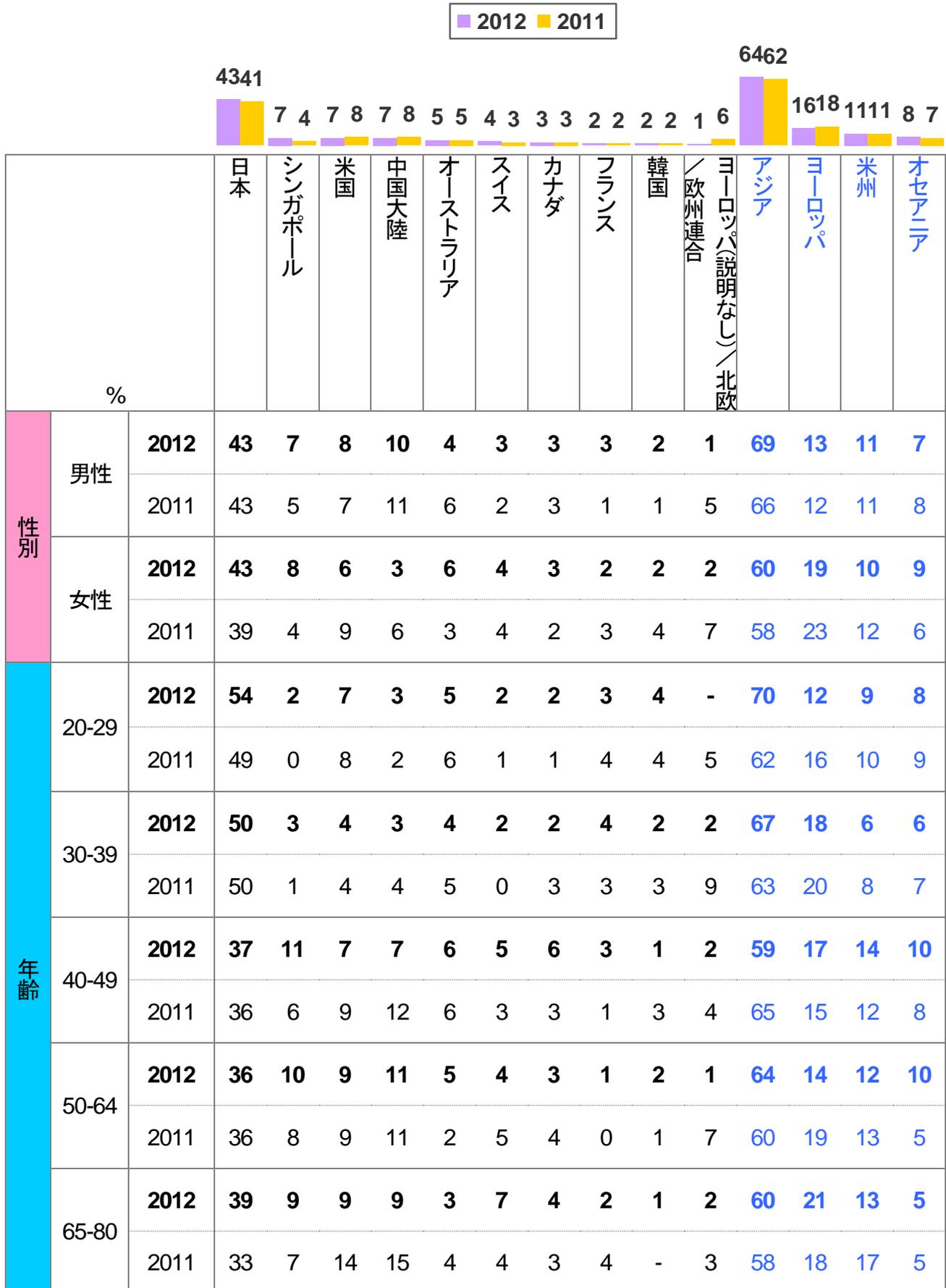
Q1/Q3/Q2/Q35/Q36/Q37/Q38

注:

1. 結果の表示方法はパーセンテージ表記。
2. 表中の「-」は回答者はいないと意味する。「0」は回答者数が全体の 1%未満であることを意味する。
3. 表中の「2012」「2011」はそれぞれ「2012 年度」及び「2011 年度」を意味する。

Q1: 台湾を除き、あなたの最も好きな国・地域はどこですか(一つ選択)。

(I)



Q1: 台湾を除き、あなたの最も好きな国・地域はどこですか(一つ選択)。

(II)

■ 2012 ■ 2011

			4341	7	4	7	8	7	8	5	5	4	3	3	3	2	2	2	2	1	6	6462	1618	11	11	8	7
		%	日本	シンガポール	米国	中国大陸	オーストラリア	スイス	カナダ	フランス	韓国	／欧州連合	ヨーロッパ(説明なし)／北欧	アジア	ヨーロッパ	米州	オセアニア										
地区	北部	2012	44	7	9	6	4	3	3	2	3	1	65	15	12	7											
		2011	39	4	9	8	5	2	3	1	2	6	61	19	11	7											
	中部	2012	39	7	7	7	4	5	4	3	1	2	59	19	11	9											
		2011	44	6	9	9	5	3	1	4	3	6	66	15	11	5											
	南部	2012	45	6	5	7	8	4	3	3	3	1	65	14	9	9											
		2011	42	3	7	8	4	4	4	2	2	6	60	19	11	7											
東部	2012	49	14	5	7	2	5	2	2	2	-	78	13	7	2												
	2011	38	6	10	8	11	-	5	1	-	6	56	13	15	13												
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	46	12	9	8	3	3	-	1	3	3	72	12	9	7											
		2011	40	9	12	16	8	-	-	1	-	1	71	4	12	8											
	高校／技術高校卒	2012	39	12	5	10	5	3	6	1	2	1	69	11	11	7											
		2011	32	5	7	12	3	4	5	3	5	5	59	18	12	7											
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	46	5	7	5	6	4	2	3	2	1	63	17	9	9											
		2011	45	4	7	7	5	3	2	2	2	6	63	18	9	7											
	大学院或いはそれ以上	2012	36	3	11	5	4	4	4	4	2	2	53	25	16	6											
		2011	45	1	15	2	5	1	3	1	1	11	53	22	18	6											

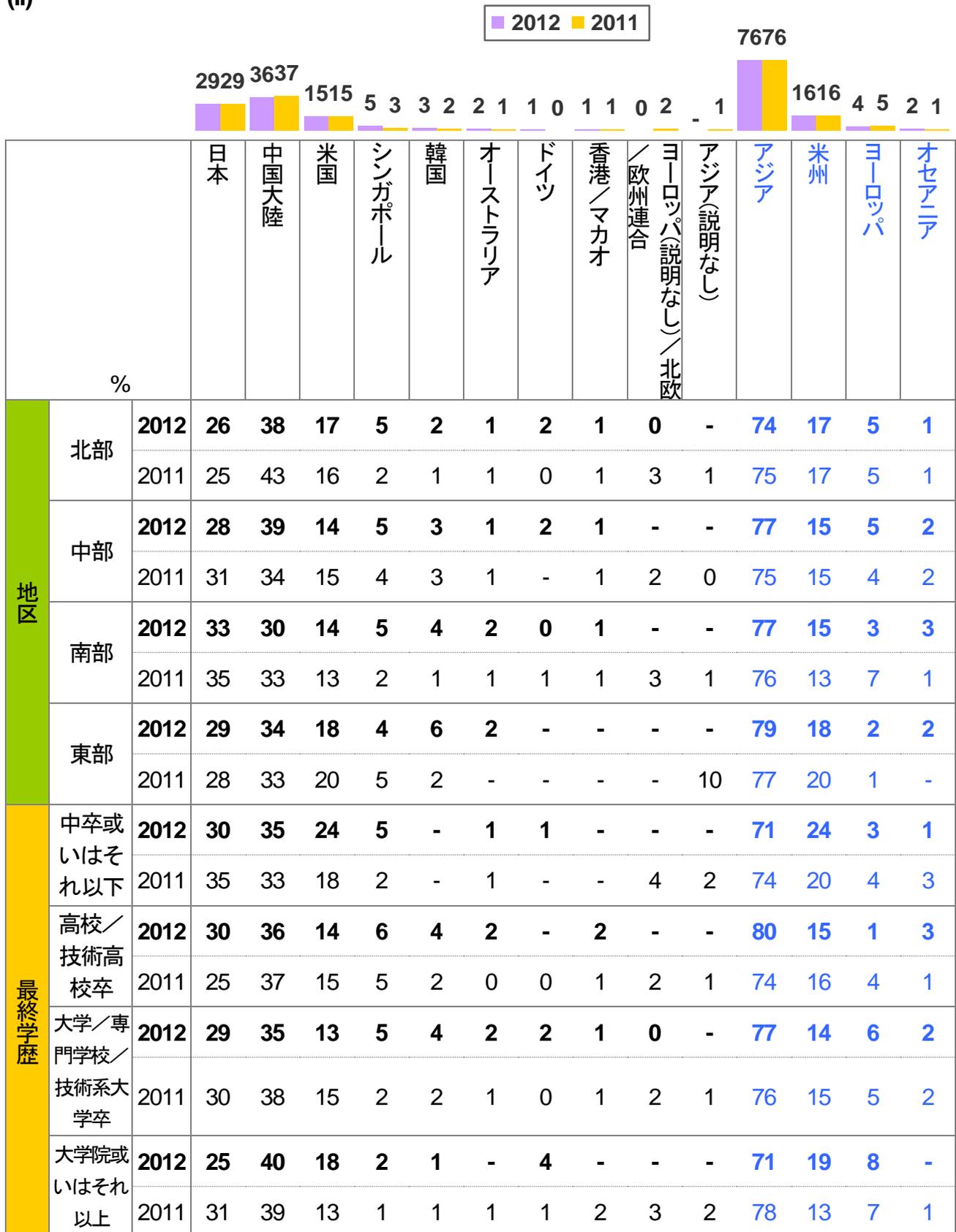
Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国・地域はどこですか(一つ選択)。

(I)

		2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	
		%														
		2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	2012	2011	
性別	男性	2012	30	41	13	2	2	1	1	1	-	-	80	14	4	1
		2011	32	39	13	2	1	1	1	1	3	1	79	13	4	1
	女性	2012	28	31	17	8	4	2	1	1	0	-	73	18	5	2
		2011	27	36	17	3	3	1	0	2	2	1	72	18	6	2
年齢	20-29	2012	37	28	12	3	5	2	1	4	-	-	78	14	4	2
		2011	37	31	15	1	2	1	-	2	2	0	76	16	3	1
	30-39	2012	32	40	10	1	3	1	2	0	0	-	80	11	5	1
		2011	39	30	12	-	2	2	1	3	4	0	78	12	6	2
	40-49	2012	20	38	18	10	5	1	2	-	-	-	75	18	5	1
		2011	21	42	15	5	1	1	1	-	2	3	74	15	6	2
	50-64	2012	26	35	19	8	1	3	1	0	-	-	74	19	4	3
		2011	23	44	15	4	1	1	0	-	3	1	75	16	6	1
65-80	2012	30	40	19	2	1	1	1	-	-	-	73	20	3	1	
	2011	26	39	20	3	1	1	-	-	1	-	72	21	3	1	

Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国・地域はどこですか(一つ選択)。

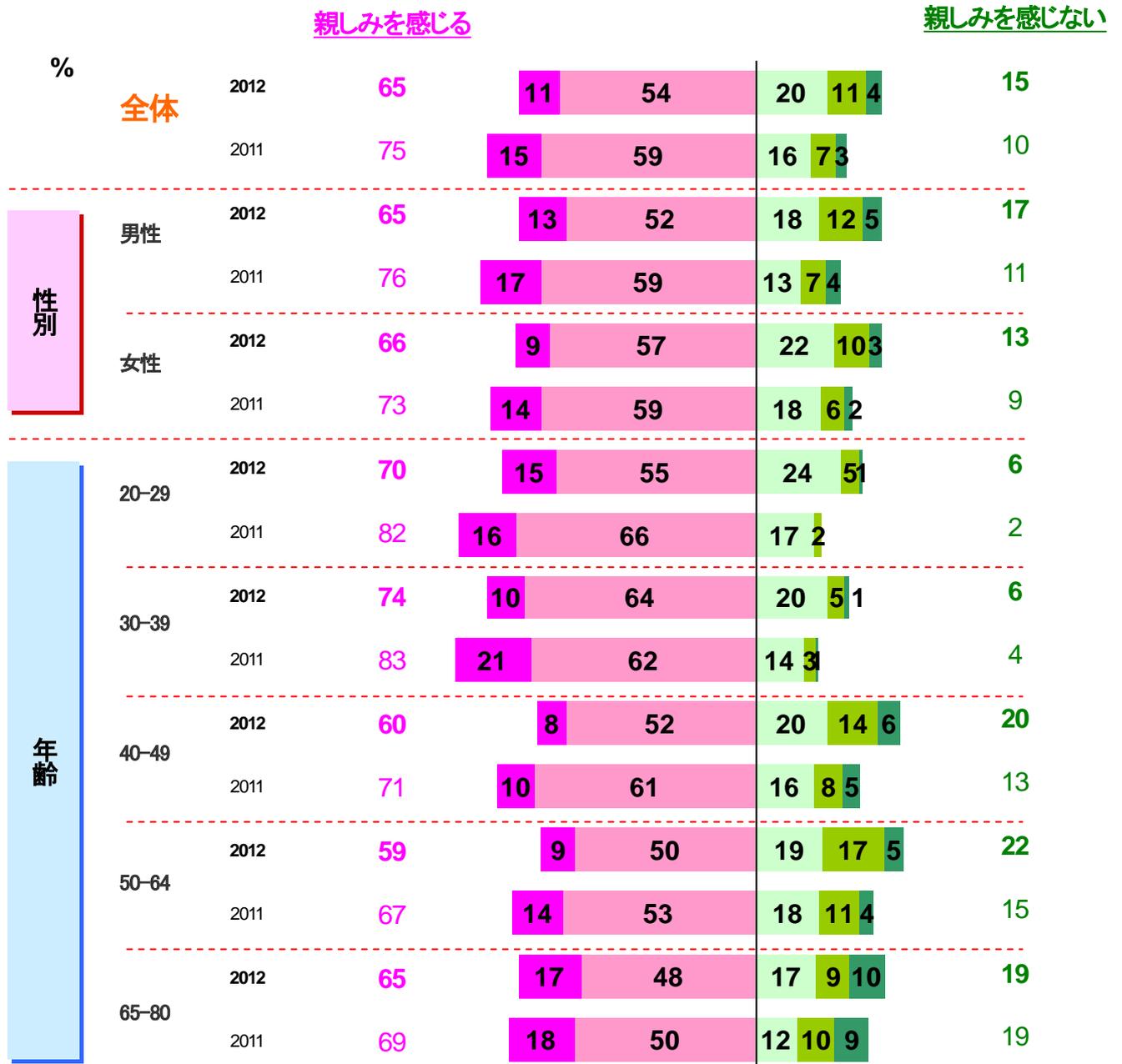
(II)



Q3: 日本に親しみを感じますか(一つ選択)。

(I)

- 親しみを感じる
- どちらかという親しみを感じる
- 分からない
- どちらかという親しみを感じない
- 親しみを感じない



Q3: 日本に親しみを感じますか(一つ選択)。

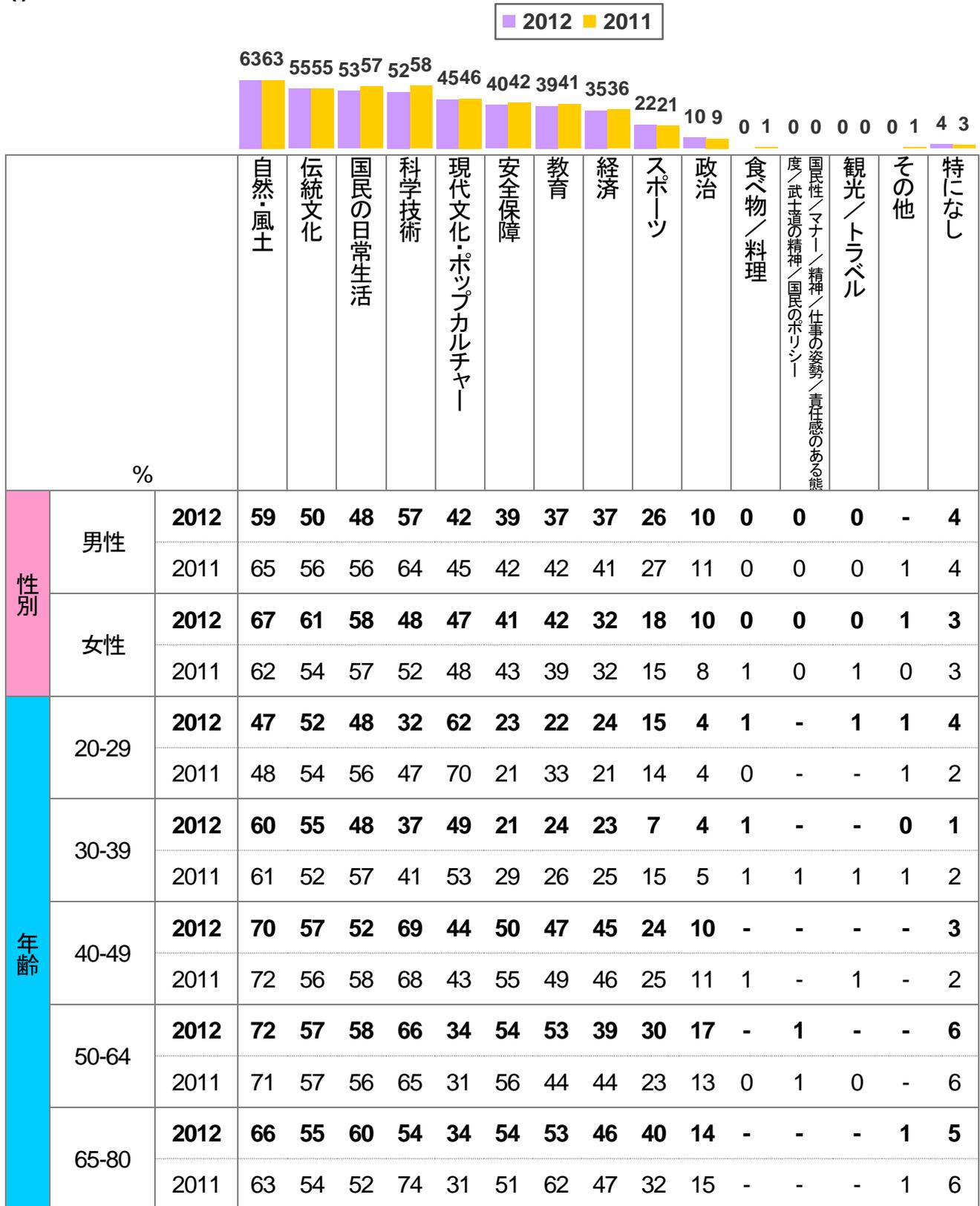
(II)

■ 親しみを感じる
 ■ どちらかという親しみを感じる
 ■ 分からない
 ■ どちらかという親しみを感しない
 ■ 親しみを感しない



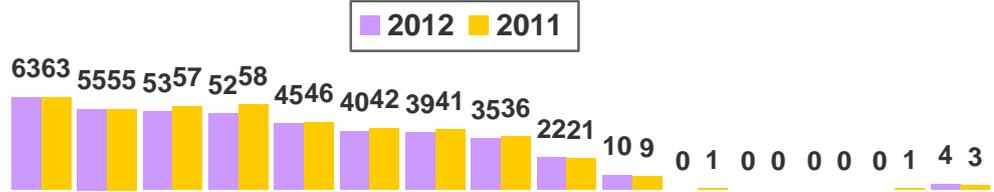
Q4: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

(I)



Q4: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

(II)

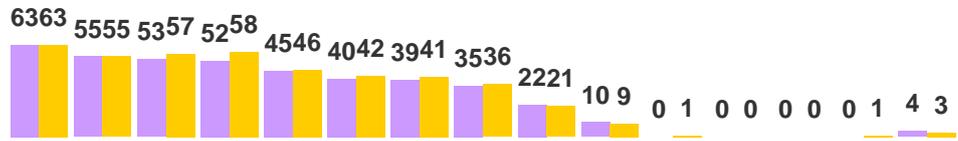


		%	自然・風土	伝統文化	国民の日常生活	科学技術	現代文化・ポップカルチャー	安全保障	教育	経済	スポーツ	政治	食へ物／料理	度／武士道の精神／国民のポリシー	国民性／マナー／精神／仕事の姿勢／責任感のある態	観光／トラベル	その他	特になし
地区	北部	2012	63	55	54	53	46	38	39	34	19	9	1	0	-	1	4	
		2011	64	54	55	58	49	42	39	34	19	8	1	0	0	0	0	5
	中部	2012	62	53	51	54	43	37	40	35	21	8	-	-	-	-	-	4
		2011	63	54	58	53	46	41	38	33	19	8	1	0	-	1	2	
	南部	2012	65	57	53	49	46	44	37	36	26	12	0	1	1	0	3	
		2011	63	58	58	61	44	45	46	41	24	11	0	0	0	1	1	3
	東部	2012	60	66	49	60	37	48	49	33	21	11	-	-	-	-	-	9
		2011	61	47	49	61	38	38	42	41	29	10	-	-	-	-	-	-
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	68	51	57	62	41	56	57	48	38	20	-	-	-	-	-	4
		2011	69	54	46	71	39	44	53	41	35	16	-	-	-	-	-	1
	高校／技術 高校卒	2012	66	56	51	59	36	48	43	38	27	9	0	1	-	1	8	
		2011	64	58	53	60	41	57	49	40	26	13	0	-	1	-	4	
	大学／専門 学校／技術 系大学卒	2012	62	57	54	48	51	34	35	31	17	8	1	0	0	0	3	
		2011	61	52	59	54	48	40	36	34	17	7	1	0	1	1	4	
大学院或いはそれ以上	2012	59	53	46	49	40	30	28	31	12	6	-	-	-	-	1		
	2011	70	65	58	59	53	22	38	35	18	5	-	1	-	1	-		

Q4: 日本のどの分野に関心がありますか(複数回答可)。

(III)

2012 2011

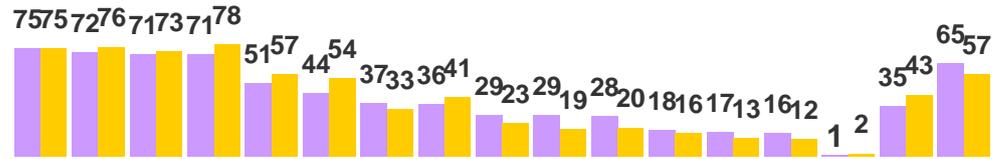


		%																
最も旅行したい国	日本	2012	66	58	60	53	52	46	40	36	22	10	1	0	-	-	1	
		2011	70	61	63	57	56	43	43	37	19	10	0	-	0	1	1	
			自然・風土	伝統文化	国民の日常生活	科学技術	現代文化・ポップカルチャー	安全保障	教育	経済	スポーツ	政治	食べ物／料理	武士道の精神／国民のポリシー	国民性／マナー／精神／仕事の姿勢／責任感のある態度	観光／トラベル	その他	特になし

Q5: 日本に対しどのようなイメージを持っていますか(複数回答可)。

(I)

■ 2012 ■ 2011



		%																	
		自然の美しい国	経済力・技術力の高い国	豊かな伝統と文化を持つ国	きまりを守る国	民主的な国	平和な国	影響力を失いつつある国	クール・おしゃれな国	傲慢な国	好戦的な国	警戒を要する国	国際貢献に消極的な国	閉鎖的な国	不可解な国	その他	プラスのイメージしかない	プラス・マイナス両方のイメージがある	
性別	男性	2012	73	74	65	69	54	42	40	35	31	31	30	19	18	18	1	34	66
	2011	73	79	70	75	62	56	35	40	21	20	21	16	14	14	1	42	58	
性別	女性	2012	78	70	77	72	47	45	34	37	28	27	26	17	16	14	1	36	64
	2011	77	73	76	81	52	52	31	42	25	17	19	16	13	10	2	45	55	
年齢	20-29	2012	57	59	59	61	26	33	18	19	9	6	6	3	5	3	1	66	34
		2011	59	65	67	68	35	40	13	26	5	3	4	2	4	1	0	75	25
	30-39	2012	57	58	55	64	28	25	24	18	12	10	10	2	7	3	-	58	42
		2011	58	62	60	68	32	36	13	21	8	6	4	3	4	4	2	71	29
	40-49	2012	91	85	84	83	71	56	55	54	45	47	41	32	28	27	-	10	90
		2011	89	87	86	91	76	72	49	59	43	31	30	26	22	18	1	20	80
50-64	2012	89	83	83	74	67	51	50	48	45	45	46	26	25	27	1	18	82	
	2011	85	84	77	84	76	62	50	51	30	26	30	27	22	17	3	23	77	
65-80	2012	84	71	74	70	64	60	31	41	32	34	36	27	21	17	2	25	75	
	2011	88	86	75	76	67	58	38	45	33	34	37	23	13	23	3	19	81	

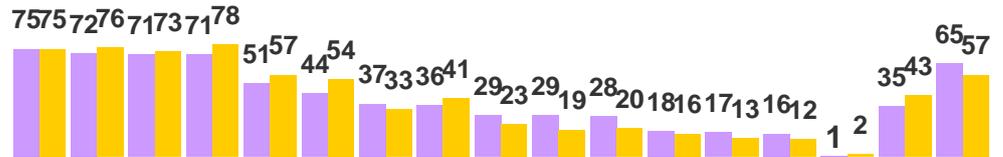
注:(1)「プラスのイメージ」には、自然の美しい国、経済力や技術力の高い国、豊かな伝統と文化を持つ国、きまりを守る国、民主的な国、平和な国、クール・おしゃれな国等の選択項目が含まれる。「マイナスのイメージ」には、影響力を失いつつある国、傲慢な国、好戦的な国、警戒を要する国、国際貢献に消極的な国、閉鎖的な国、理解できない国等の選択項目が含まれる。

(2)「マイナスのイメージしかない」人は、僅か 2%であったため、グループを設けず、「プラスのイメージしかない」と「プラス・マイナス両方のイメージがある」の 2 グループに分類した。

Q5: 日本に対しどのようなイメージを持っていますか(複数回答可)。

(II)

■ 2012 ■ 2011



		%	自然の美しい国	経済力・技術力の高い国	豊かな伝統と文化を持つ国	きまわりを守る国	民主的な国	平和な国	影響力を失いつつある国	クール・おしゃれな国	傲慢な国	好戦的な国	警戒を要する国	国際貢献に消極的な国	閉鎖的な国	不可解の国	その他	プラスのイメージしかない	プラス・マイナス両方のイメージがある
地区	北部	2012	78	73	73	71	52	43	39	37	28	31	31	17	18	16	1	32	68
		2011	75	74	72	78	54	54	36	37	21	18	20	14	13	11	2	44	56
	中部	2012	72	70	67	70	48	44	38	37	30	26	24	16	15	16	-	37	63
		2011	73	78	71	75	59	52	31	39	25	21	19	17	15	11	1	41	59
	南部	2012	75	71	71	70	51	46	35	35	30	27	27	20	17	15	1	38	62
		2011	76	77	77	81	60	56	30	46	23	19	21	18	11	13	3	44	56
	東部	2012	74	75	75	73	53	43	28	27	34	32	31	11	20	18	-	33	67
		2011	79	87	65	79	51	46	30	51	29	17	19	17	17	17	-	38	62
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	88	75	72	61	66	59	34	49	35	36	39	24	16	20	2	27	73
		2011	85	84	71	74	66	68	40	44	28	27	35	25	21	22	-	20	80
	高校／技術高校卒	2012	80	71	75	73	61	48	37	41	40	37	33	25	20	22	1	27	73
		2011	83	79	74	81	68	56	37	51	28	24	29	23	14	16	3	28	72
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	70	72	70	71	44	38	37	33	23	23	22	13	15	12	0	40	60
		2011	71	73	72	77	53	50	31	38	23	18	16	13	12	10	2	51	49
大学院或いはそれ以上	2012	74	72	66	76	44	45	44	24	28	30	32	17	21	14	1	39	61	
	2011	70	79	79	75	47	55	29	31	13	8	12	11	14	4	1	56	44	

Q6: 海外旅行するとした場合、どこへ行きたいですか(一つ選択)。

(I)

■ 2012 ■ 2011



		%	日本	ヨーロッパ	中国大陸	米国	東南アジア	韓国	オーストラリア	ド	ニュージーランド	なし	アジア	ヨーロッパ	米州	オセアニア	
性別	男性	2012	40	28	13	6	6	3	2	0	0	0	63	28	7	2	
		2011	43	24	19	6	4	1	0	0	0	0	0	68	24	7	0
	女性	2012	37	40	6	5	4	5	1	0	0	0	0	52	41	6	1
		2011	35	40	9	5	4	4	4	0	0	0	0	53	41	5	1
年齢	20-29	2012	54	24	4	4	5	8	1	-	-	-	71	24	4	1	
		2011	52	27	3	8	4	4	-	0	1	0	1	64	27	8	0
	30-39	2012	46	35	4	4	6	3	-	0	-	-	0	60	35	5	1
		2011	49	33	8	2	4	3	-	-	-	0	0	64	33	2	-
	40-49	2012	29	45	12	5	2	4	1	0	-	-	-	48	46	5	1
		2011	30	33	20	7	5	4	-	-	-	-	-	58	34	8	-
	50-64	2012	30	36	13	6	7	2	3	-	1	-	1	53	36	7	3
		2011	34	32	19	4	5	1	-	0	0	0	0	60	34	5	0
	65-80	2012	34	27	15	13	5	3	1	-	-	-	-	58	27	13	1
		2011	27	36	20	6	4	-	3	-	1	-	1	53	37	6	3

Q6: 海外旅行するとした場合、どこへ行きたいですか(一つ選択)。

(II)

■ 2012 ■ 2011



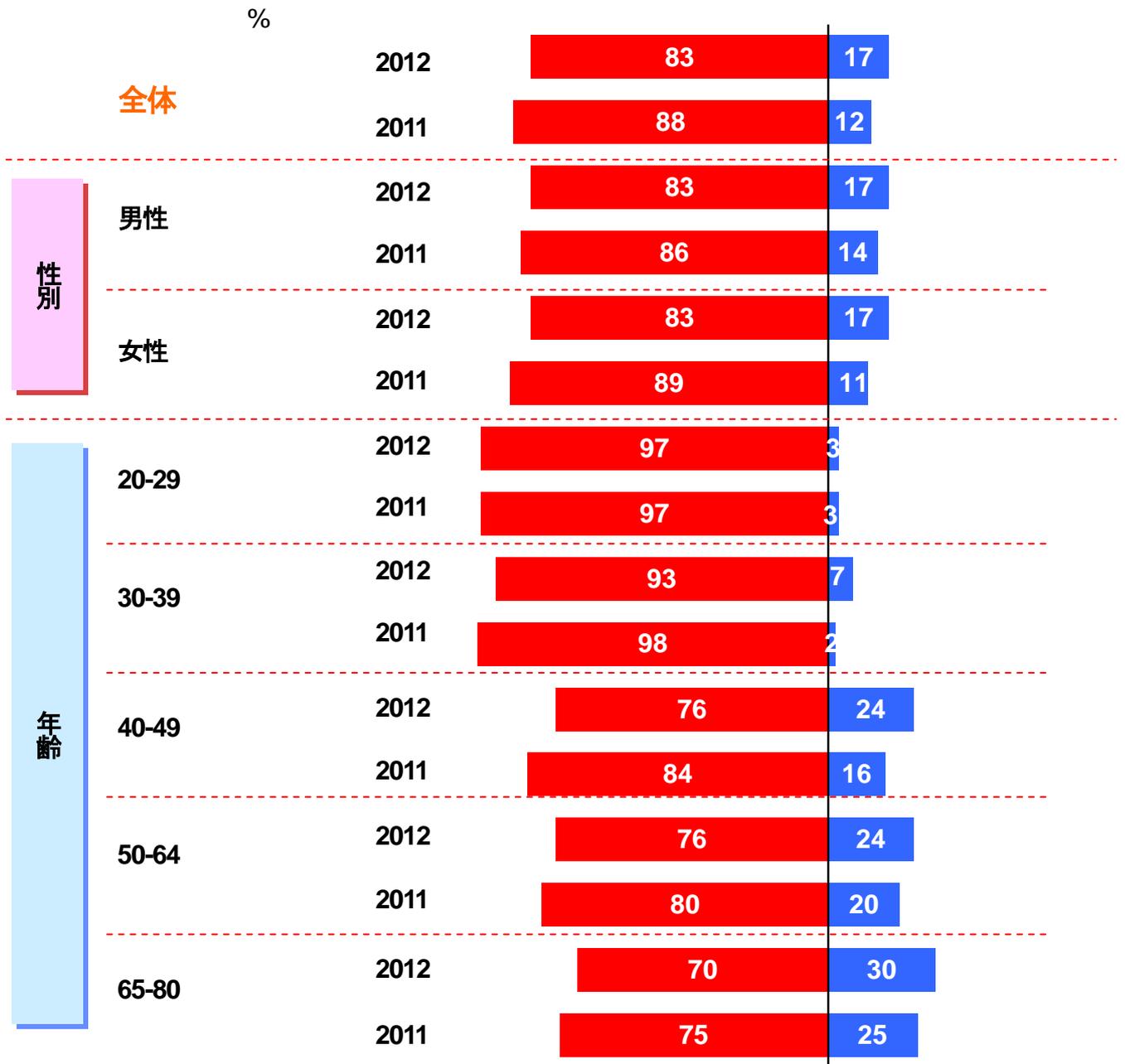
		%	日本	ヨーロッパ	中国大陸	米国	東南アジア	韓国	オーストラリア	ド	ニュージーランド	なし	アジア	ヨーロッパ	米州	オセアニア
地区	北部	2012	35	36	9	8	5	3	1	0	0	0	53	37	8	2
		2011	38	32	14	6	5	2	0	-	1	1	59	33	7	0
	中部	2012	41	32	9	6	5	4	1	0	0	0	60	32	6	1
		2011	42	29	14	4	5	3	0	-	-	-	65	30	5	0
	南部	2012	41	34	9	3	5	5	2	-	-	-	61	34	3	2
		2011	38	34	14	4	4	3	-	0	0	0	61	34	4	0
	東部	2012	44	28	9	2	8	7	-	-	-	-	70	28	2	-
		2011	37	29	10	10	2	1	-	1	4	4	50	33	12	1
家庭全体の月収	5万以下	2012	40	27	10	6	8	6	1	-	0	0	66	27	6	1
		2011	40	25	16	5	6	3	0	-	1	1	65	26	7	0
	5~10万	2012	41	34	9	4	5	3	2	0	0	0	59	34	4	3
		2011	41	34	12	3	4	4	0	0	0	1	62	34	3	0
	10万以上	2012	33	44	9	6	2	3	1	0	-	-	47	45	7	1
		2011	38	34	13	8	4	2	-	0	-	-	57	34	8	0

Q7: 日本に旅行したいと考えますか(一つ選択)。

(I)

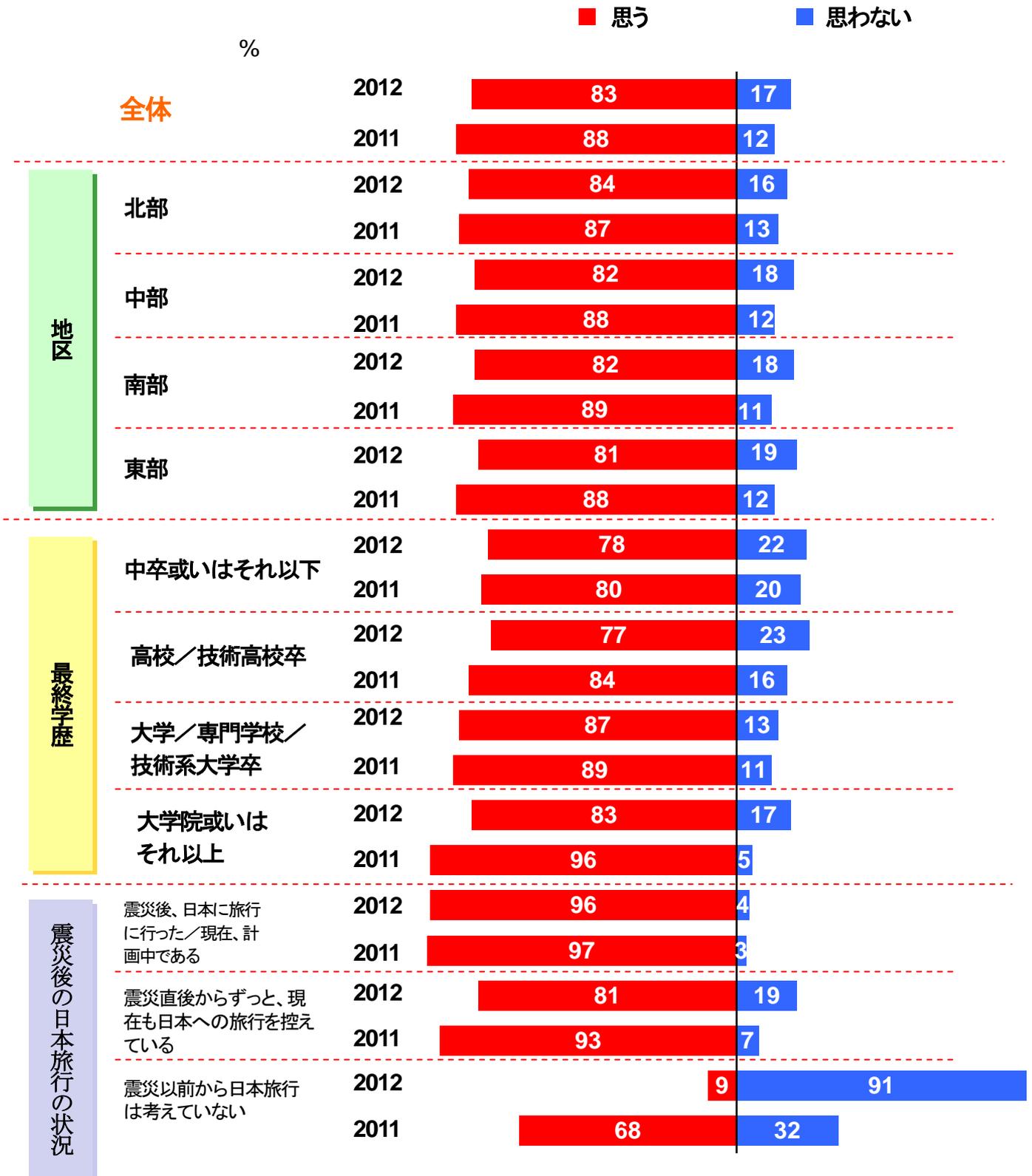
■ 思う

■ 思わない



Q7: 日本に旅行したいと考えますか(一つ選択)。

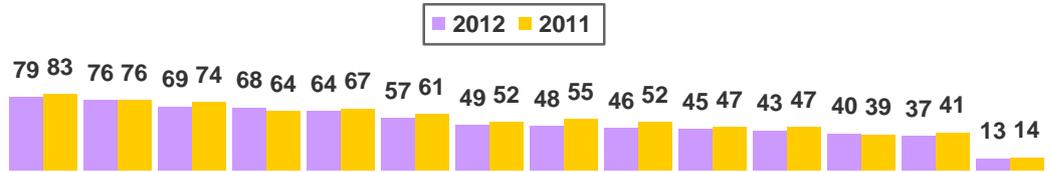
(II)



注: 2012年のデータでは、「震災直後からずっと、現在も日本への旅行を控えている」と回答した人のうち、81%が日本に旅行したいと答えた。

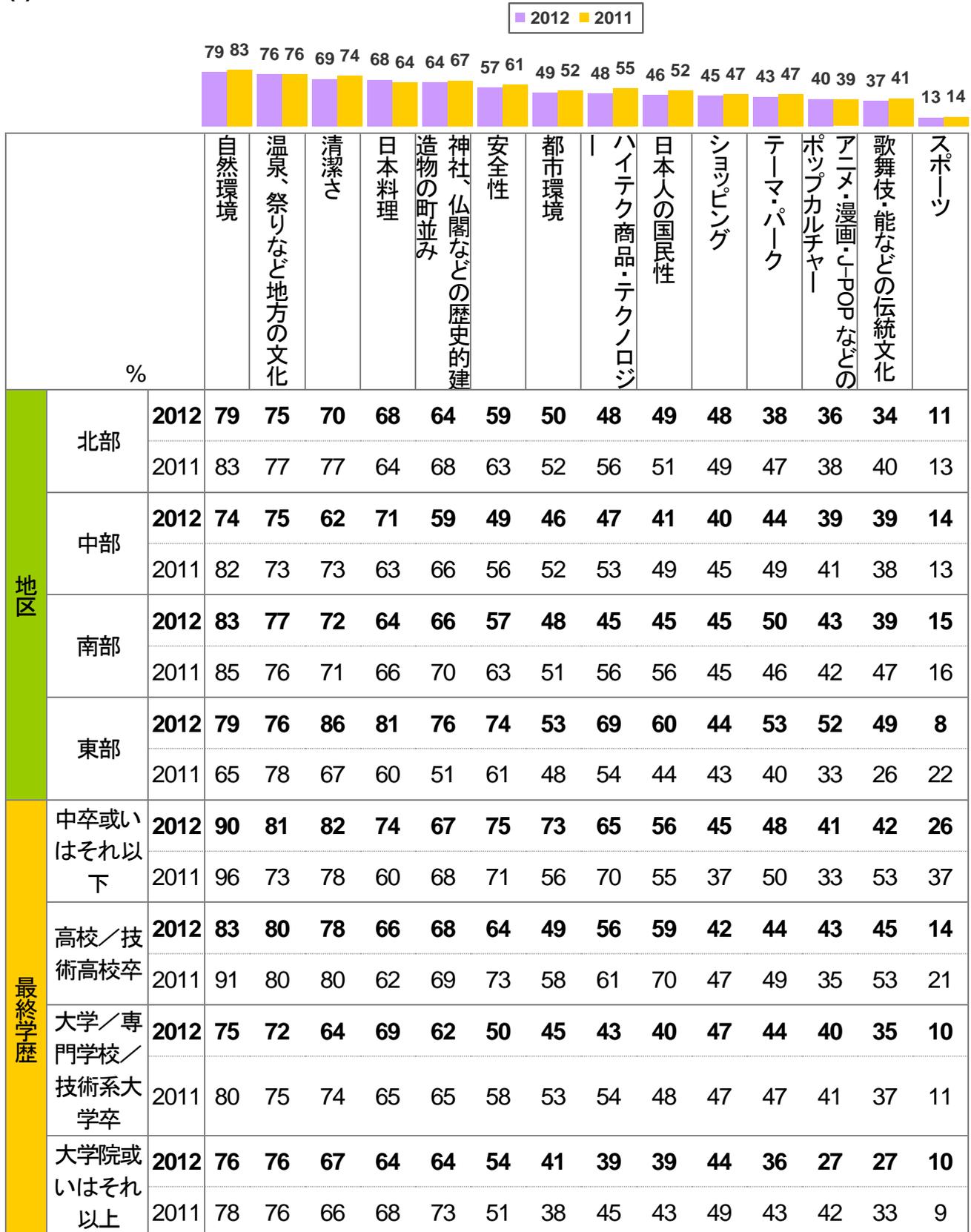
Q8: (問7. の設問で、「思う」と答えた方のみ)
日本のどこに魅力を感じますか (複数回答可)。

(I)



		%	自然環境	文化	温泉、祭りなど地方の文化	清潔さ	日本料理	造物の町並み	神社、仏閣などの歴史的建造物	安全性	都市環境	ハイテク商品・テクノロジー	日本人の国民性	ショッピング	テーマ・パーク	のポップカルチャー	アニメ・漫画・J-POP など	スポーツ
性別	男性	2012	76	74	66	68	60	55	48	52	45	39	42	38	36	15		
		2011	84	74	72	64	66	63	53	59	53	40	42	40	40	20		
	女性	2012	81	77	73	68	68	58	49	44	48	51	45	41	39	10		
		2011	81	77	77	64	69	59	51	51	51	53	51	38	42	9		
年齢	20-29	2012	60	65	49	68	56	35	37	39	29	45	49	54	27	9		
		2011	68	72	61	70	63	35	44	49	35	52	48	58	30	5		
	30-39	2012	69	69	53	65	52	39	28	31	28	41	36	31	27	5		
		2011	71	70	64	65	63	46	39	40	37	49	48	36	35	9		
	40-49	2012	91	84	84	68	79	67	58	55	62	44	52	40	51	12		
		2011	95	85	85	65	70	80	61	65	64	41	53	42	44	18		
	50-64	2012	89	86	88	70	71	77	66	65	63	50	38	36	41	20		
		2011	94	79	90	59	73	83	62	66	73	47	41	30	50	24		
	65-80	2012	97	76	85	72	68	82	70	58	62	46	45	33	47	25		
		2011	98	75	77	58	71	72	64	64	60	40	43	23	54	23		

Q8: (問7. の設問で、「思う」と答えた方のみ)
日本のどこに魅力を感じますか (複数回答可)。
(II)



Q9: あなたは日本に関する情報を主にどこから得ていますか(一つ選択)。

(I)

■ 2012 ■ 2011



		%	テレビ	インターネット	新聞・雑誌	自分の訪日経験	家族、親戚	台湾の友人・知人	映画	学校での教育	日本の友人・知人	書籍	ユーティリティ、VCD、DVD	ラジオ	その他
性別	男性	2012	34	22	13	11	4	5	2	2	2	2	1	1	-
		2011	40	22	12	8	4	7	1	1	2	1	1	0	0
	女性	2012	47	13	10	12	6	5	2	1	1	2	1	0	0
		2011	44	14	10	9	6	7	2	0	1	4	1	1	0
年齢	20-29	2012	37	32	6	4	4	6	3	2	3	3	2	-	-
		2011	39	29	7	3	4	10	3	1	1	4	-	-	0
	30-39	2012	40	24	9	11	4	5	2	-	0	2	1	0	-
		2011	37	25	6	11	3	7	2	0	2	3	2	1	-
	40-49	2012	47	16	13	11	3	4	2	1	0	1	0	1	-
		2011	50	17	14	9	2	4	0	0	1	2	-	0	-
	50-64	2012	40	10	16	15	7	3	2	2	2	1	1	1	0
		2011	40	10	16	8	7	7	2	2	4	3	1	1	-
	65-80	2012	39	1	15	14	12	9	1	5	2	1	-	1	-
		2011	47	5	11	12	9	9	-	1	1	2	-	2	1
地区	北部	2012	36	18	12	15	6	4	2	2	1	1	1	1	-
		2011	41	17	13	10	4	6	1	1	1	3	1	0	0
	中部	2012	38	19	14	7	5	4	3	2	2	3	2	1	-
		2011	46	17	9	9	5	7	2	1	2	2	1	0	-
	南部	2012	48	14	10	10	4	7	2	1	2	1	0	0	0
		2011	40	19	10	6	6	8	2	0	3	3	0	1	-
	東部	2012	57	21	7	2	5	-	2	3	-	-	2	-	-
		2011	47	27	11	-	1	13	-	-	-	1	-	-	-

Q9: あなたは日本に関する情報を主にどこから得ていますか(一つ選択)。

(II)

■ 2012 ■ 2011

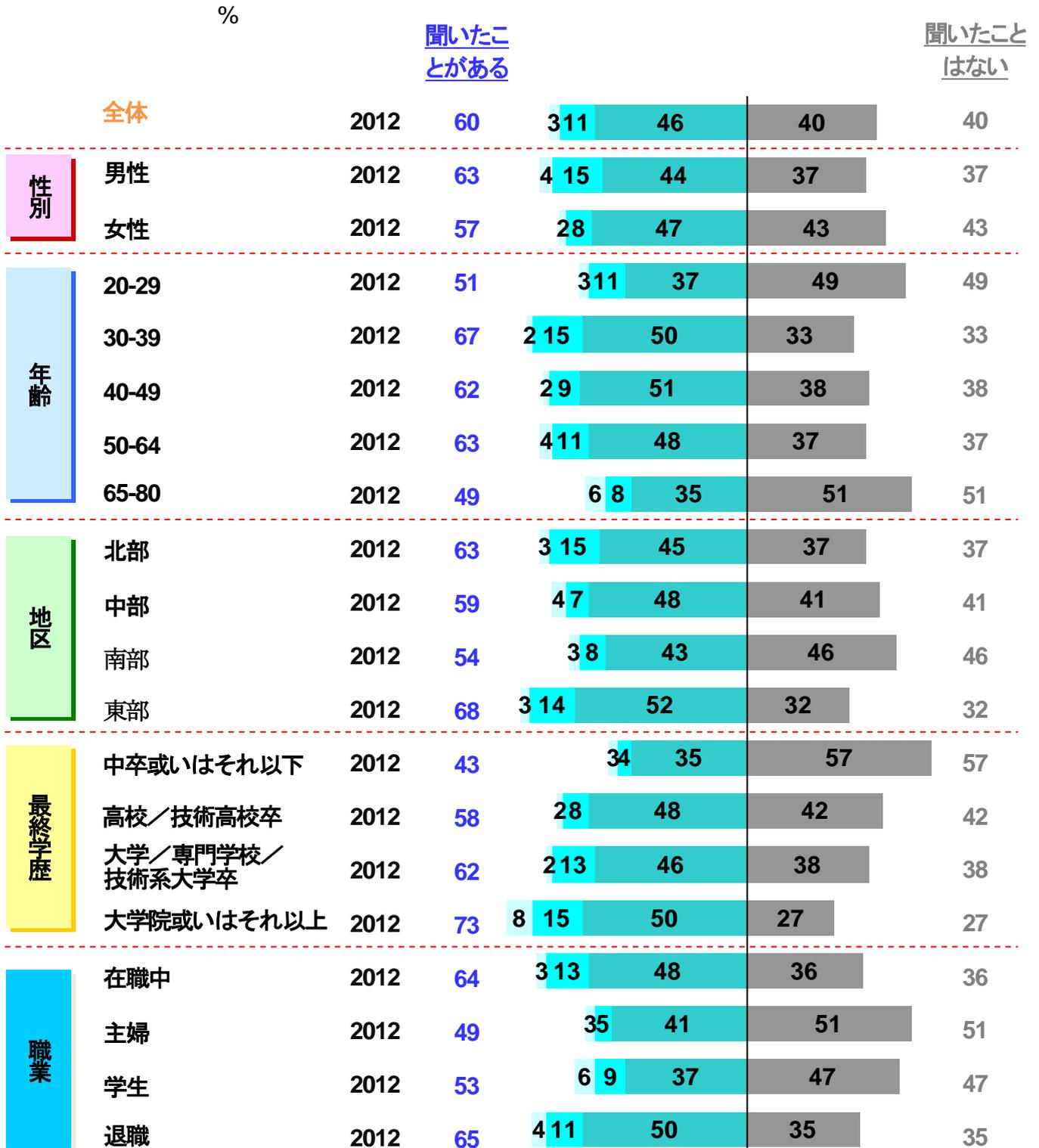


		%	テレビ	インターネット	新聞・雑誌	自分の訪日経験	家族・親戚	台湾の友人・知人	映画	学校での教育	日本の友人・知人	書籍	ユーティオ、VCD、DVD	ラジオ	その他
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	48	5	8	11	10	9	2	1	1	1	-	3	-
		2011	57	4	6	8	10	12	-	-	1	-	-	1	-
	高校／技術高校卒	2012	43	12	15	12	5	5	3	3	1	2	1	0	-
		2011	46	12	10	7	7	7	2	1	2	3	-	1	-
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	40	22	11	11	4	4	2	1	2	2	1	1	0
		2011	40	19	13	9	3	6	1	1	2	3	1	1	0
大学院或いはそれ以上	2012	32	23	12	12	6	5	1	2	3	2	2	-	-	
	2011	32	33	8	9	2	6	3	2	2	3	-	-	-	
職業	仕職中	2012	40	21	10	10	5	5	2	1	2	2	1	1	-
		2011	41	19	11	10	4	6	1	1	2	3	1	0	0
	主婦	2012	50	4	12	12	8	6	2	1	1	2	-	1	1
		2011	52	18	5	9	3	6	3	-	1	1	1	1	-
	学生	2012	32	34	12	5	3	2	5	4	2	2	-	-	-
		2011	34	33	4	4	3	15	2	-	2	3	-	-	-
	退職	2012	40	6	17	15	5	4	2	5	3	2	-	-	-
		2011	42	8	18	6	11	7	1	1	2	4	-	1	-

Q10: 日台交流における日本側の窓口機関である(公財)交流協会(日本交流協会)を知っていますか(一つ選択)。

(I) 注:2011年と2012年では、設問・選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

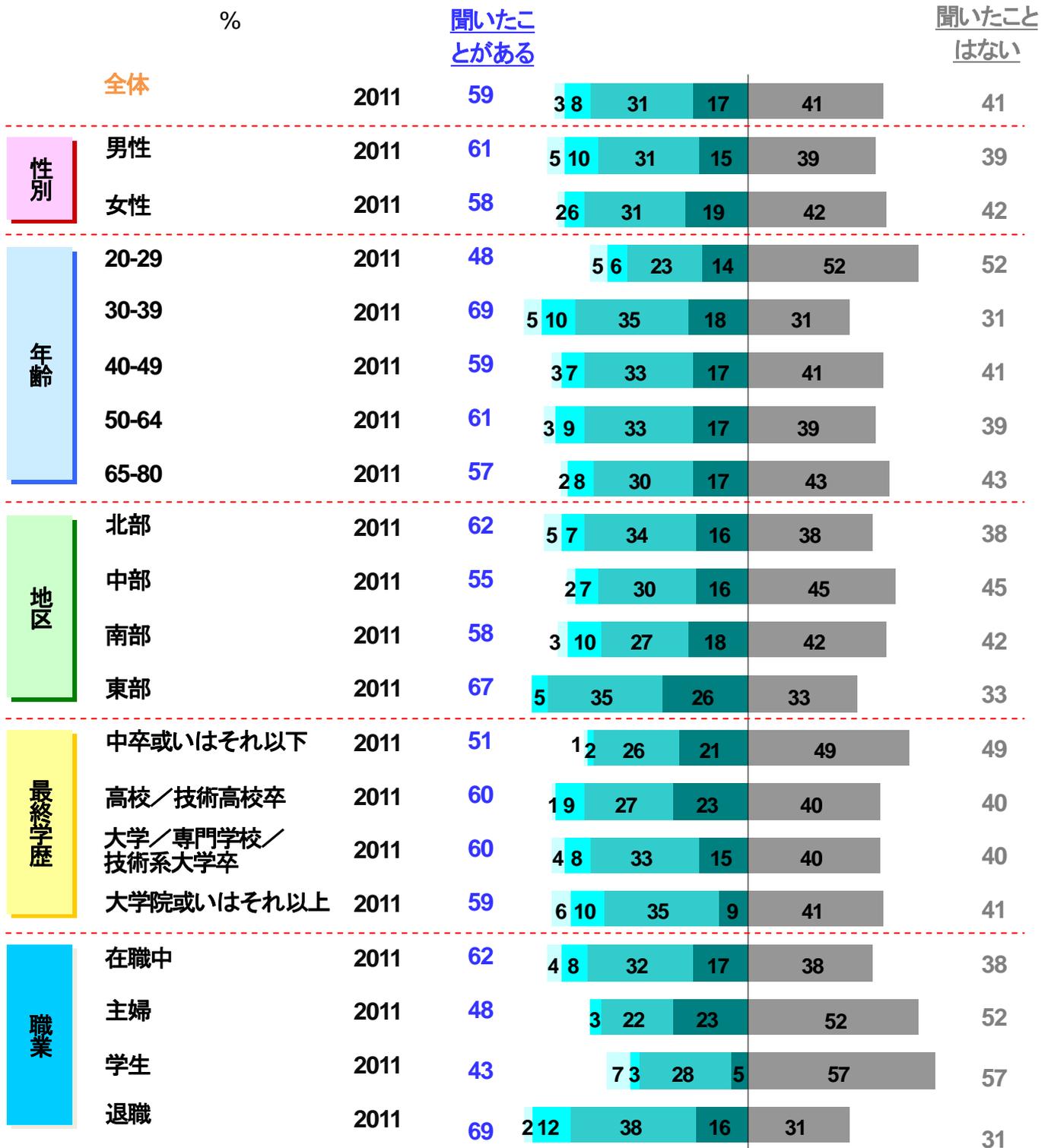
よく知っている 知っている
聞いたことはあるがあまり知らない よく知らない 聞いたことはない



Q10: 日台交流における日本側の窓口機関である(公財)交流協会(日本交流協会)を知っていますか(一つ選択)。

(II) 注:2011年と2012年では、設問・選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

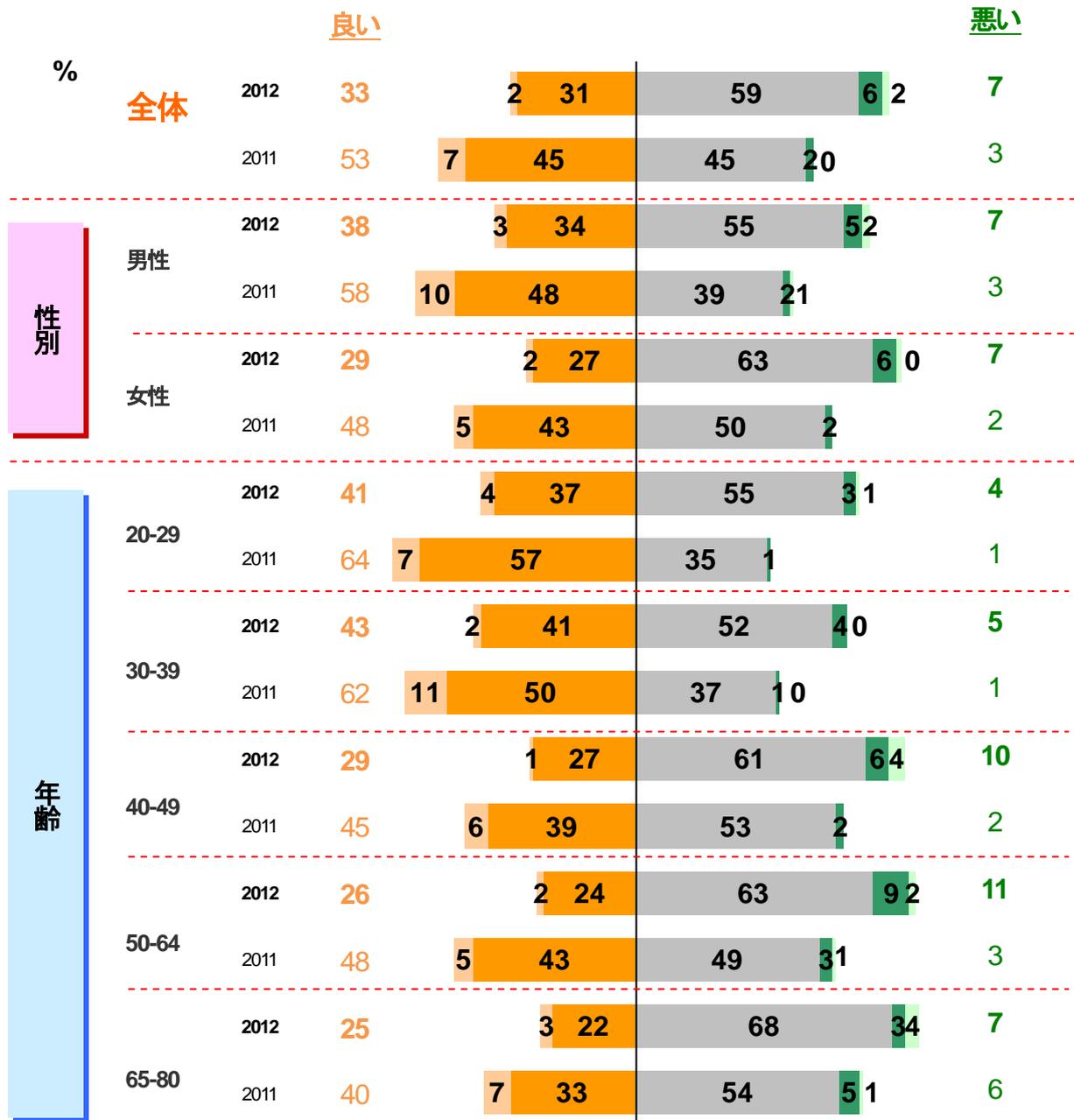
よく知っている 知っている
聞いたことはあるがあまり知らない よく知らない 聞いたことはない



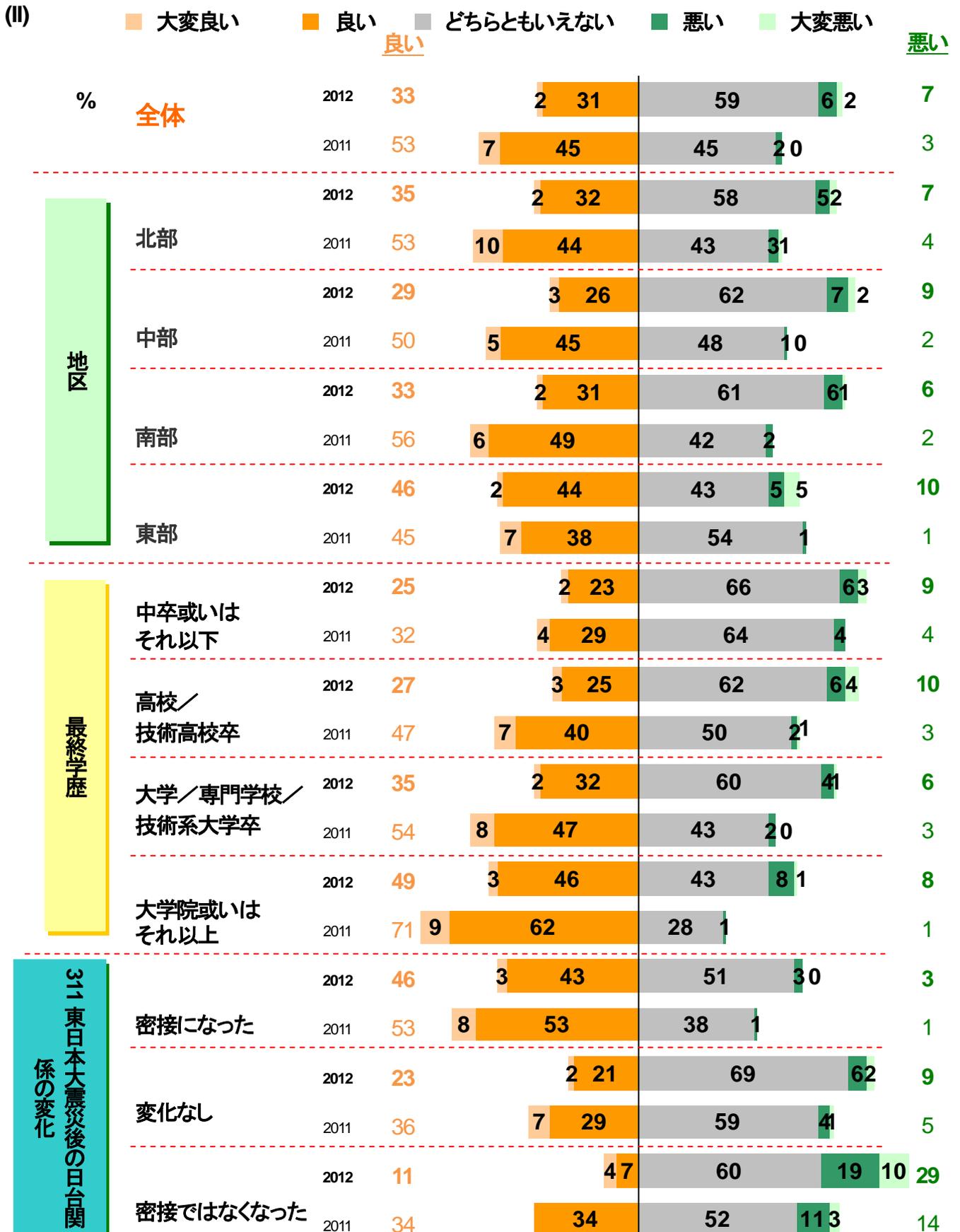
Q11: 現在の日台関係をどう思いますか(一つ選択)。

(I)

■ 大変良い ■ 良い ■ どちらともいえない ■ 悪い ■ 大変悪い



Q11: 現在の日台関係をどう思いますか(一つ選択)。

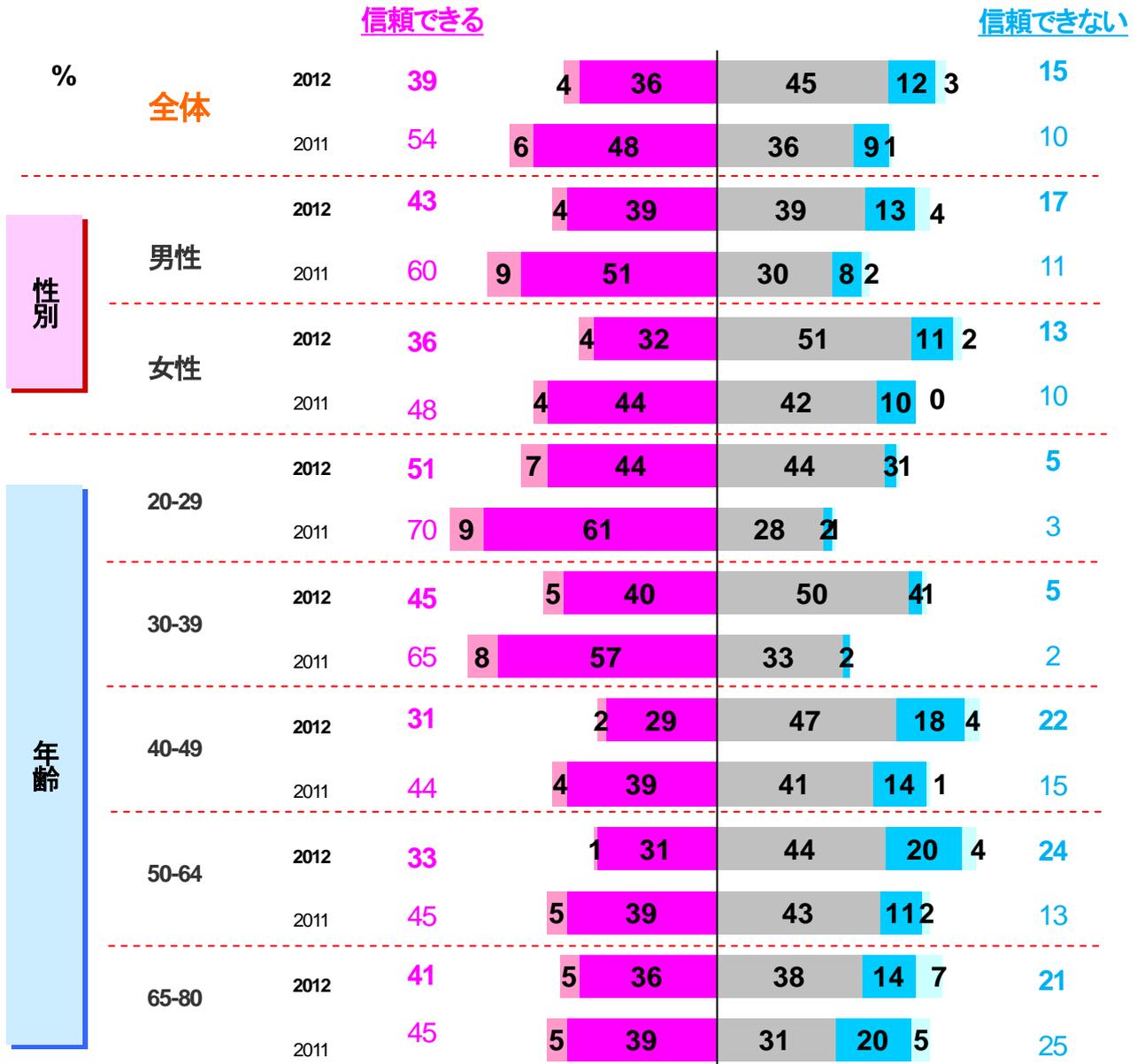


注: 2011年に発生した東日本大震災以降、日台関係がさらに密接になったと感じている人の割合が比較的高いことから、現在の日台関係は良好だと考えられる。

Q12: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

(I)

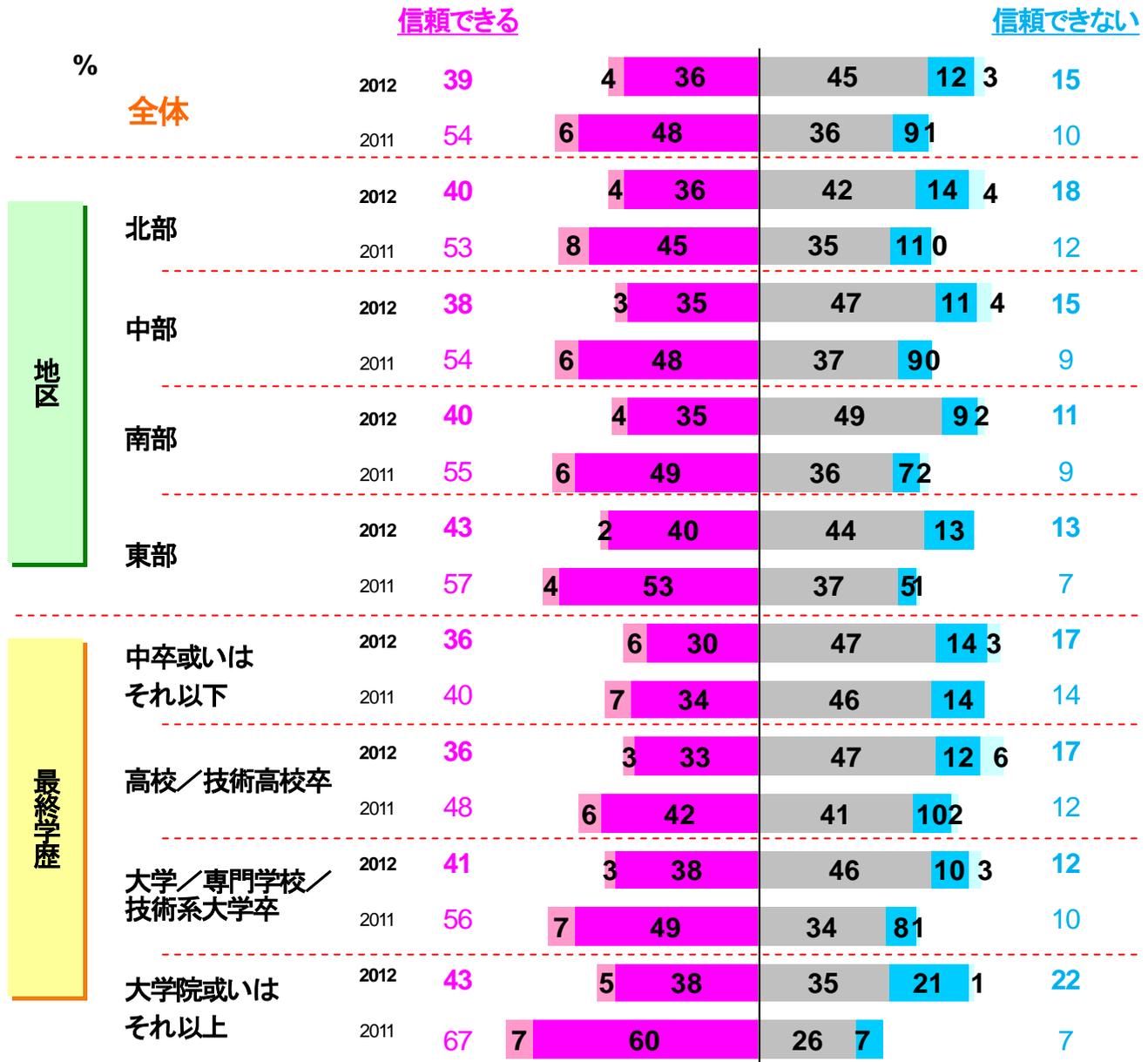
■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ 分からない ■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



Q12: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

(II)

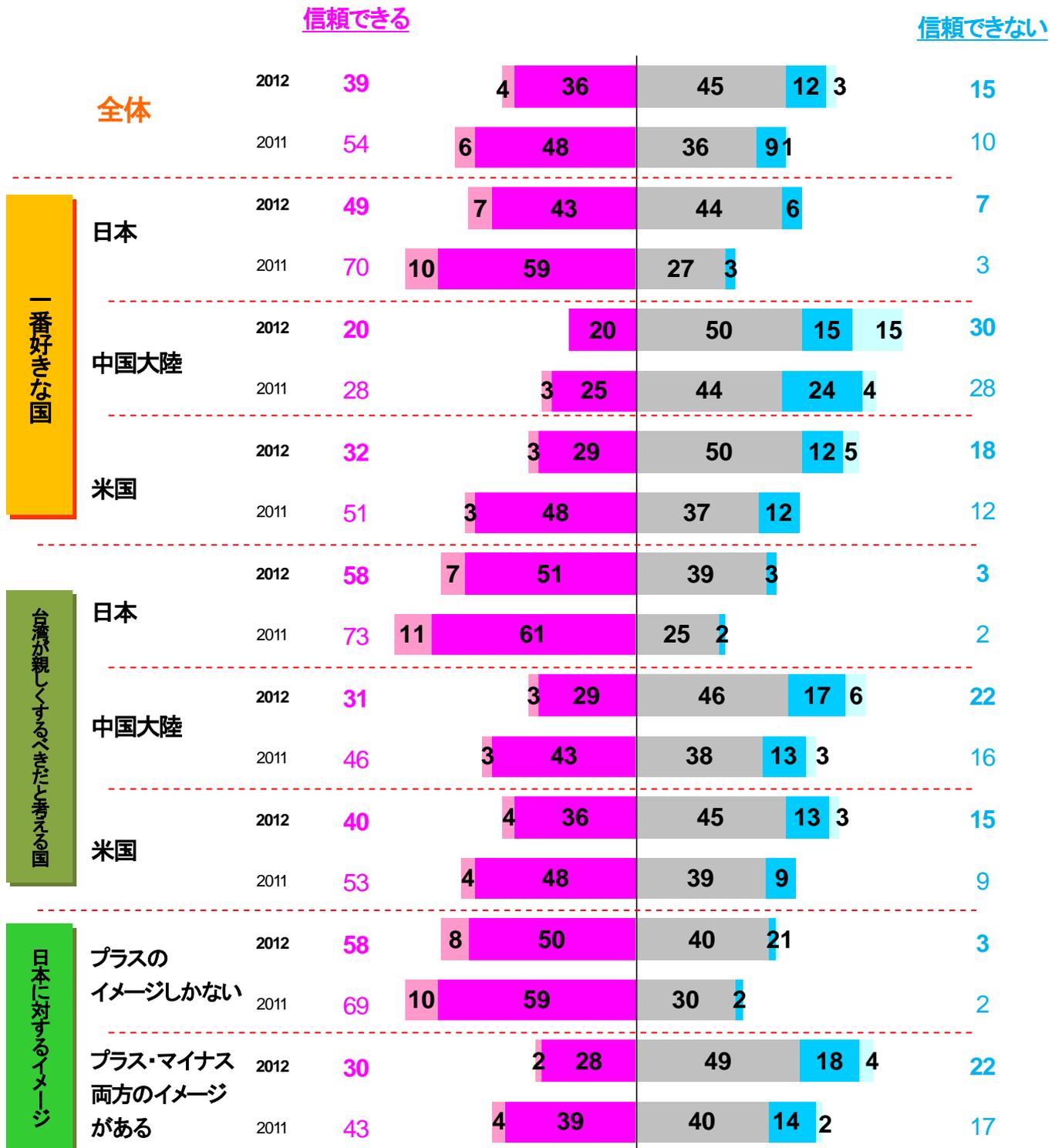
■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ 分からない ■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



Q12: 日本は信頼できる国と考えますか(一つ選択)。

(III)

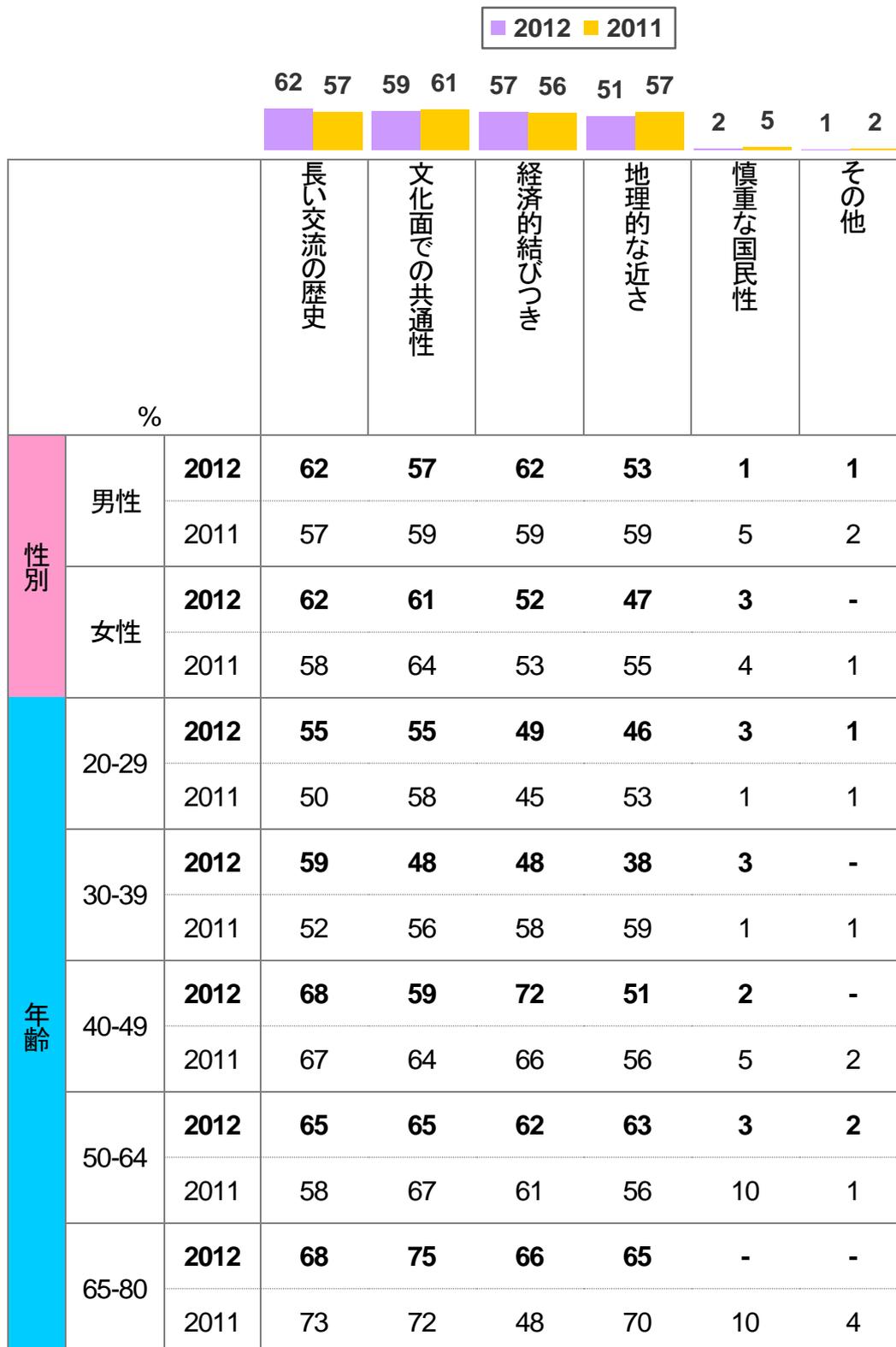
■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ 分からない ■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



注: 2012 年は「最も好きな国」、「台湾が親しくすべきだと考える国」、「日本に対するイメージ」と「日本に対する信頼度」との関連性を把握しようと試みた。日本が最も好き、台湾は日本と親しくすべきだと考える、及び日本に対してプラスのイメージしかない人は、全体平均を大きく上回る割合で、日本は信頼できる国だと回答したが、その割合は昨年より減少した。相対的に、中国大陸が最も好き、台湾は中国大陸と親しくすべきだと考える人で、日本は信頼できる国と回答した割合は明らかに低かった。

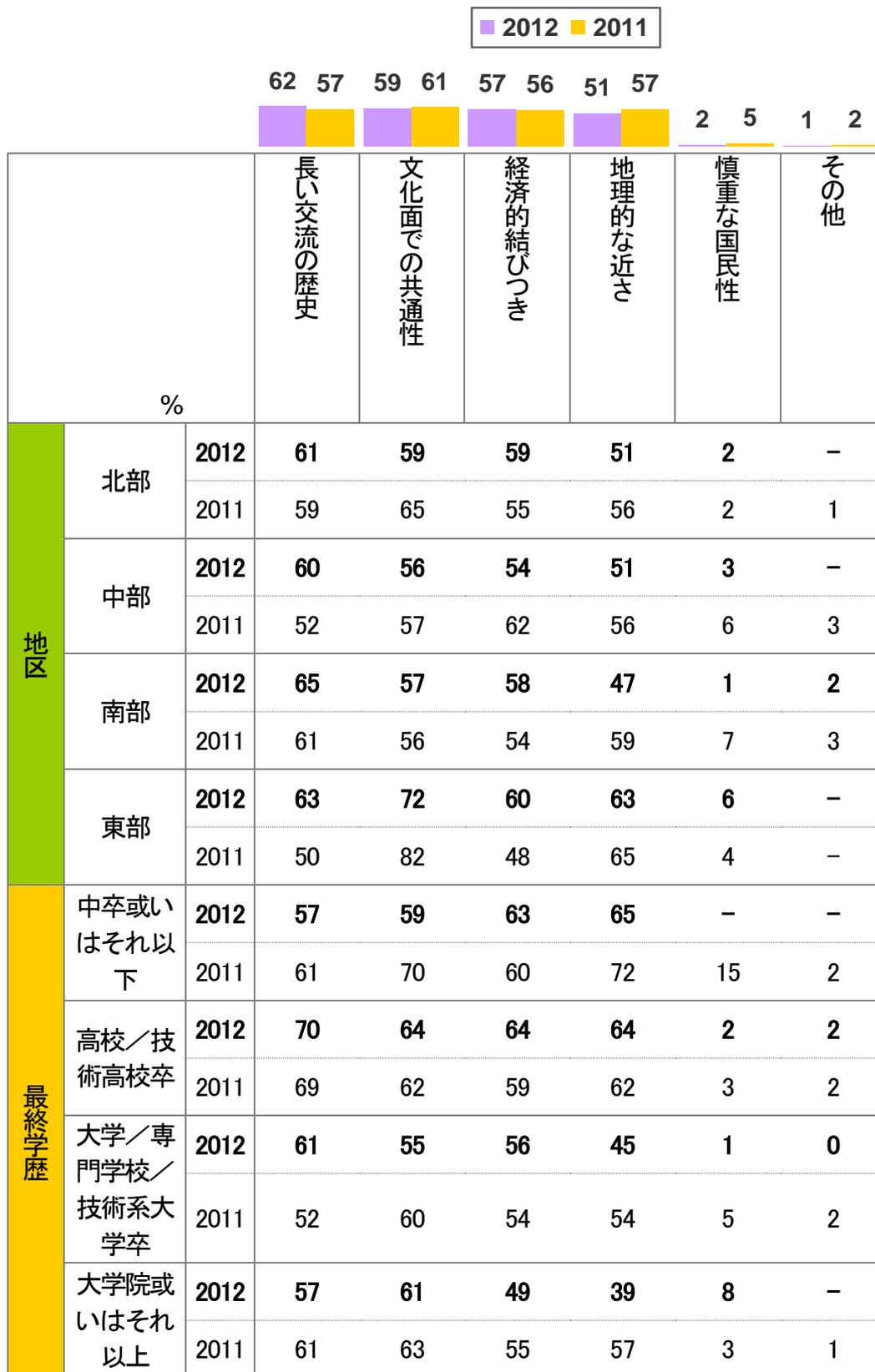
Q13: (問 12.の設問で、「非常に信頼できる」、また、「信頼できる」、と答えた方のみ)
なぜそう考えますか(複数回答可)。

(I)



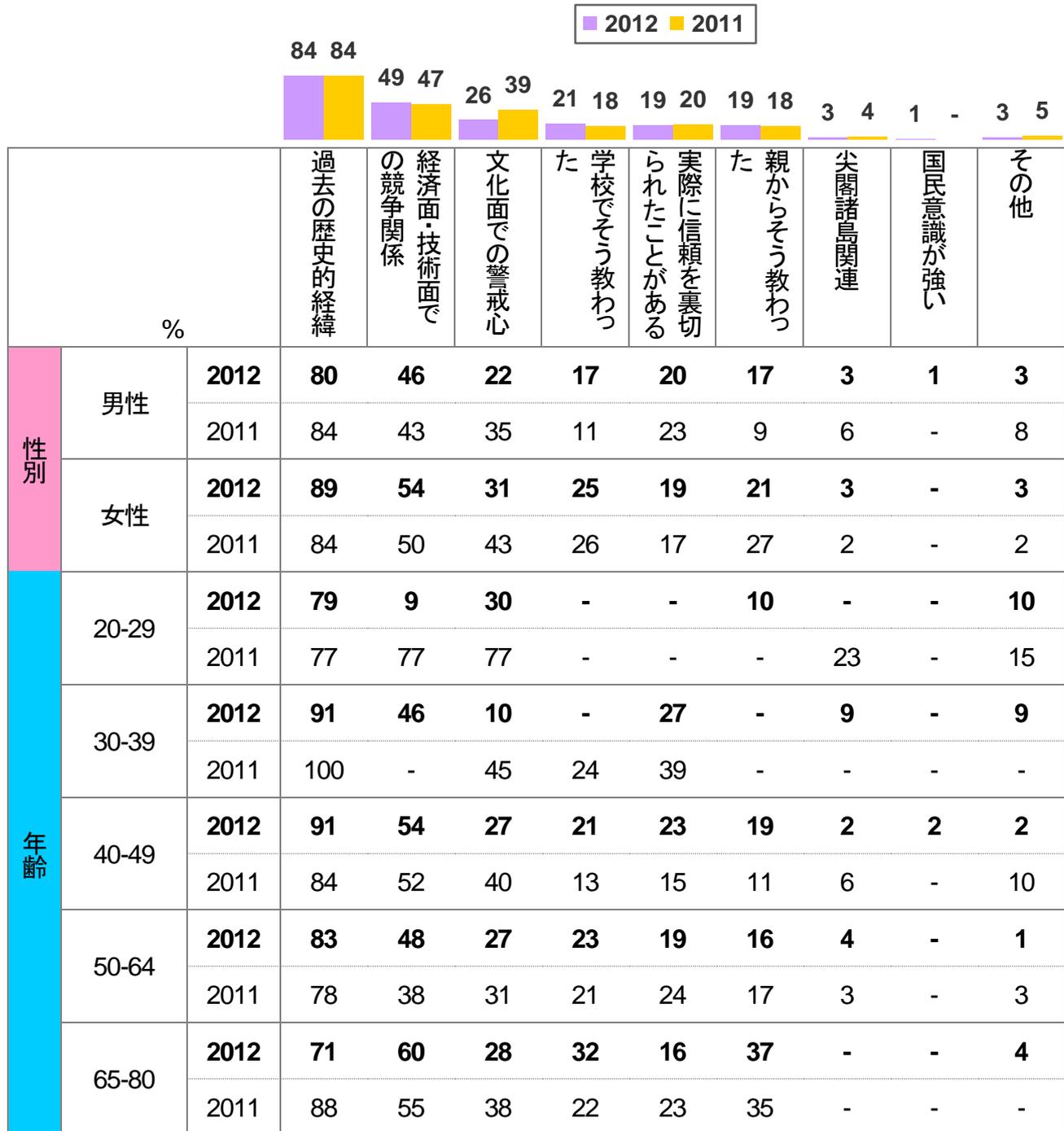
Q13: (問 12.の設問で、「非常に信頼できる」、また、「信頼できる」、と答えた方のみ)
なぜそう考えますか(複数回答可)。

(II)



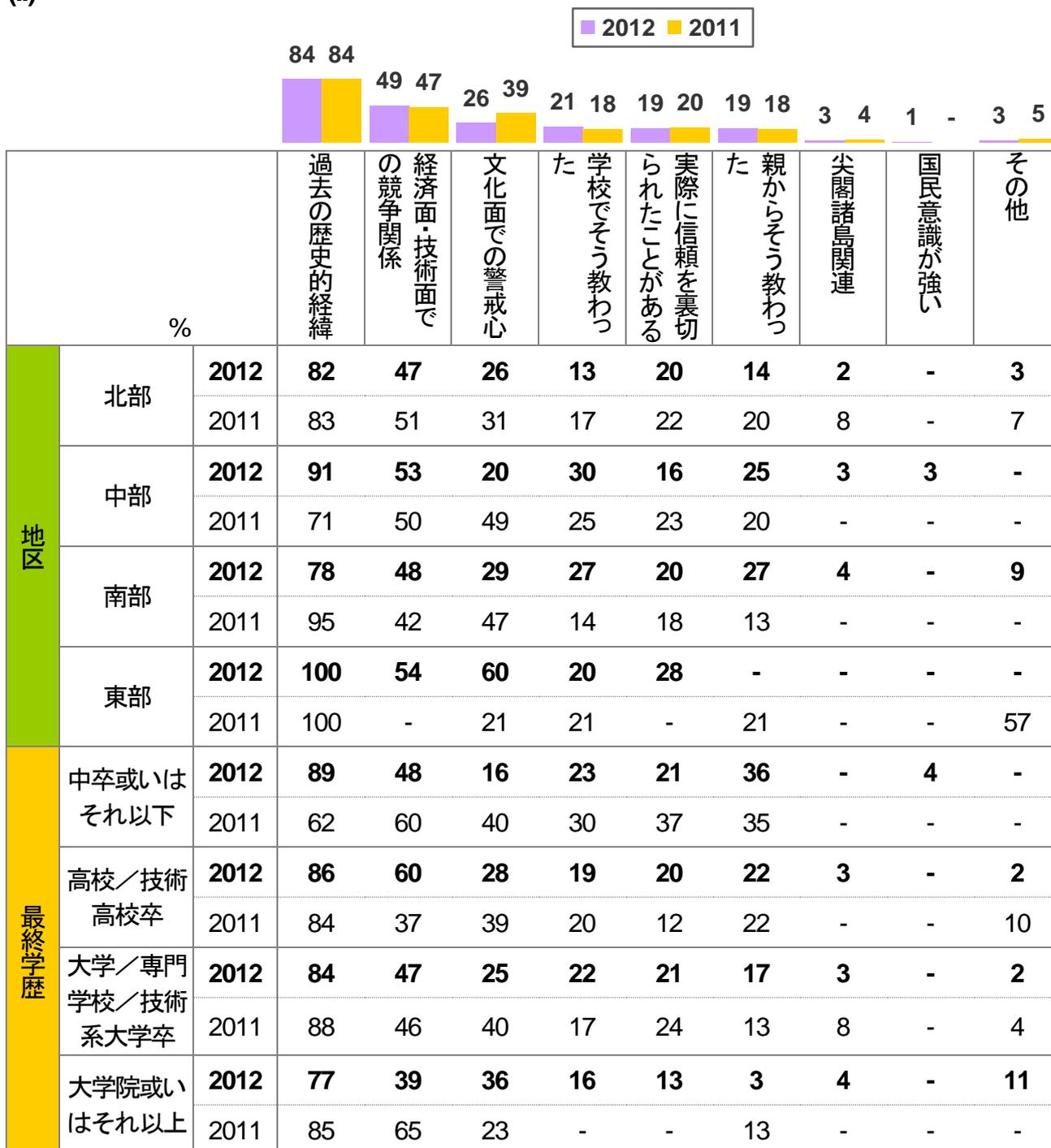
Q14: (問 12.の設問で、「信頼できない」、また、「非常に信頼できない」、と答えた方のみ)
なぜそう考えますか(複数回答可)。

(I)



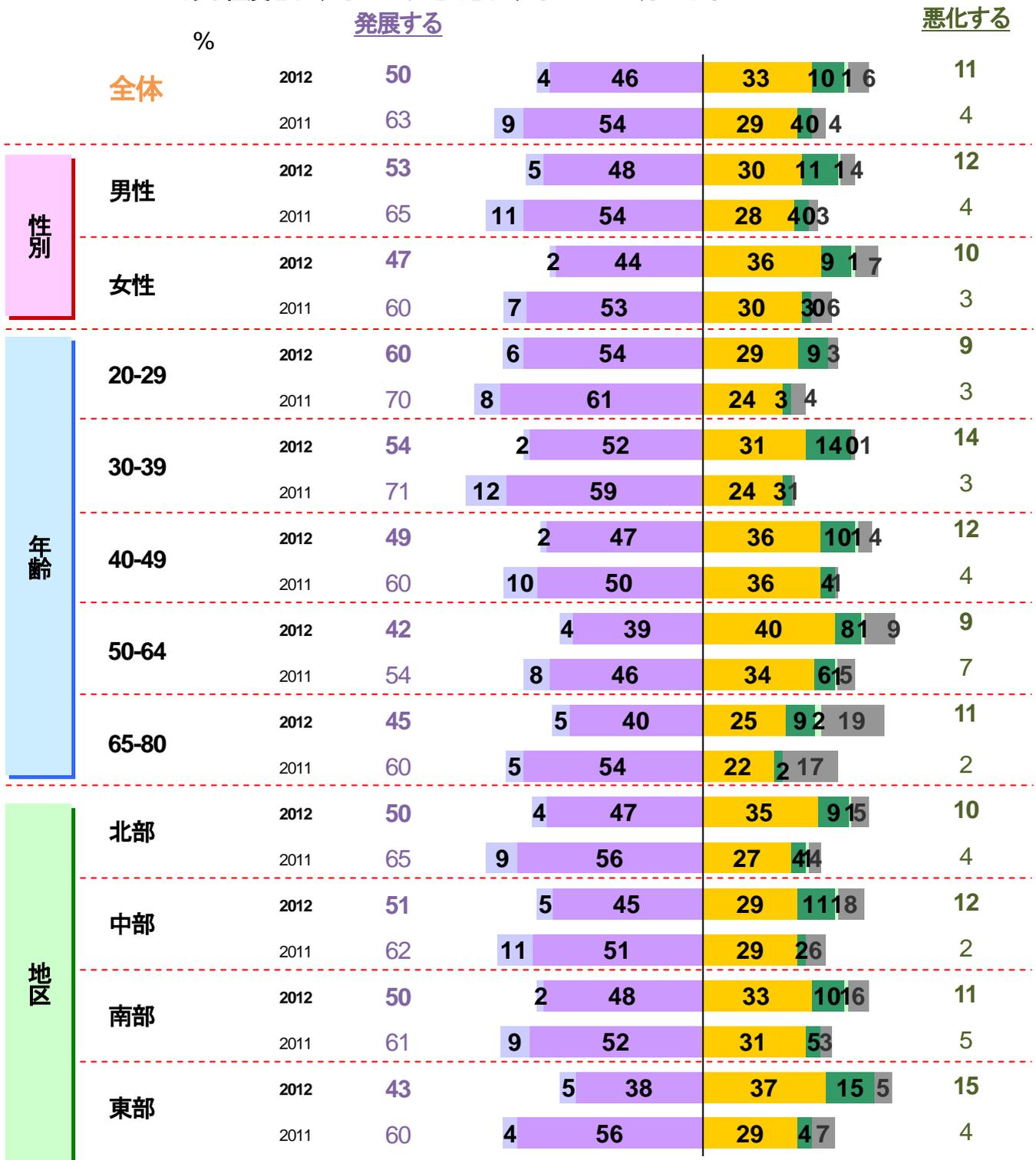
Q14: (問 12.の設問で、「信頼できない」、また、「非常に信頼できない」、と答えた方のみ)
なぜそう考えますか(複数回答可)。

(II)



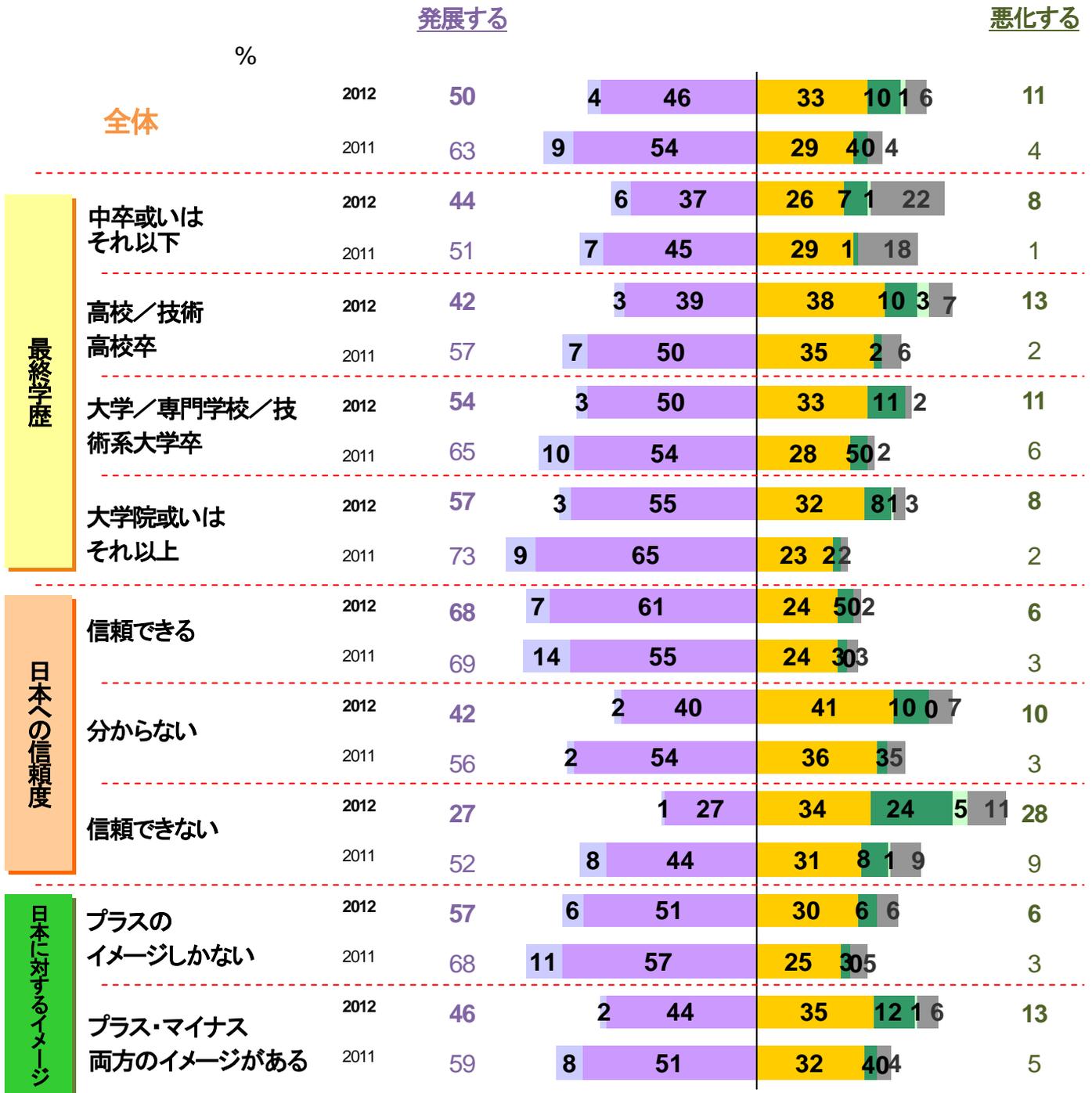
Q15: 日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか(一つ選択)。

- (I) ■ 大きく発展する ■ ある程度発展する ■ 変わらない
■ ある程度悪化する ■ 大きく悪化する ■ 分からない



Q15: 日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか(一つ選択)。

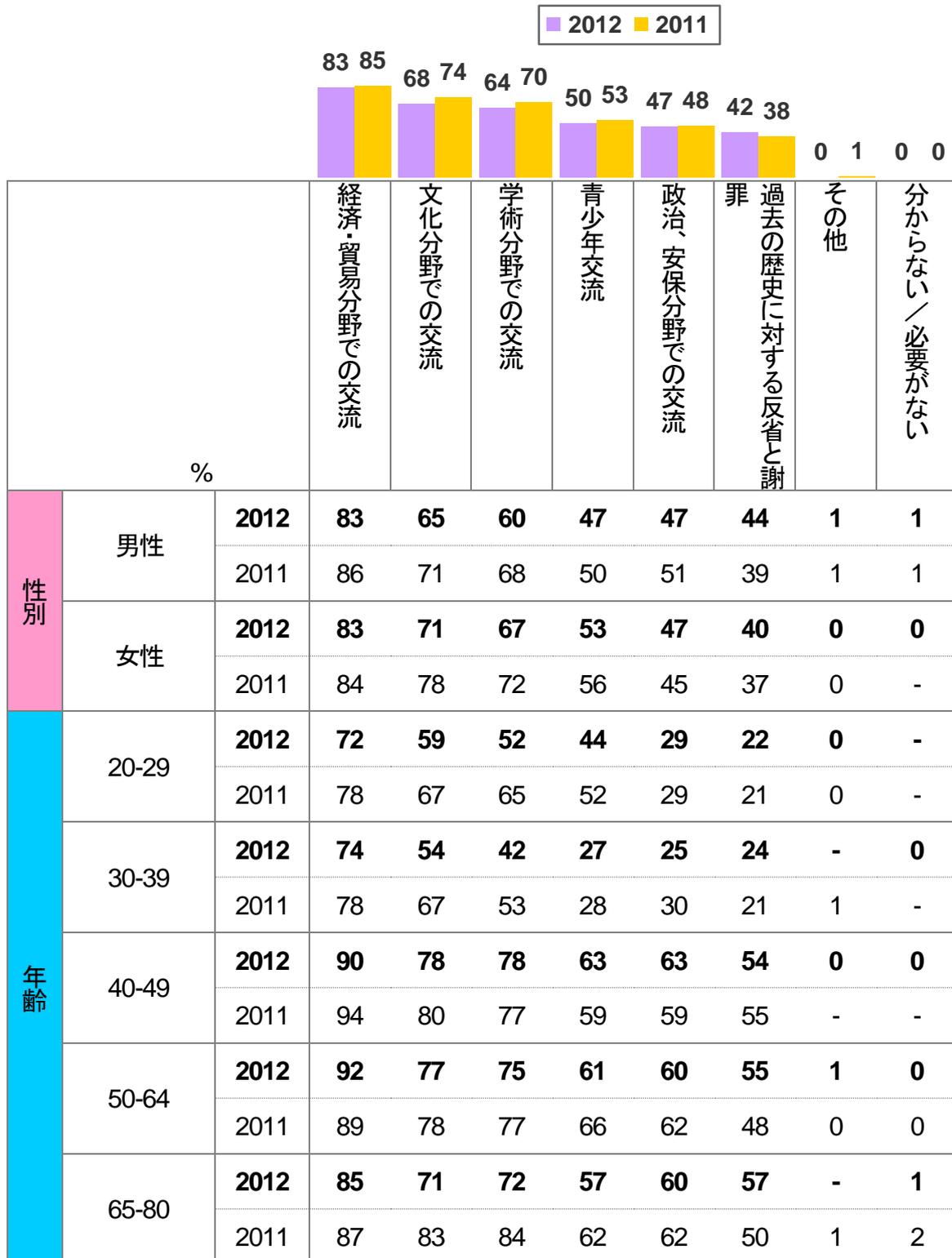
- (II)
- 大きく発展する
 - ある程度発展する
 - 変わらない
 - ある程度悪化する
 - 大きく悪化する
 - 分からない



注:2012 年は「日本に対する信頼度」、「日本のイメージ」と「将来の日台関係に対する見方」との関連性を把握しようと試みた。「日本は信頼できる」及び「日本に対してプラスのイメージしかない」と回答した人は、比較的高い割合で将来の日台関係はプラスの方向に発展すると考えていることが分かった。

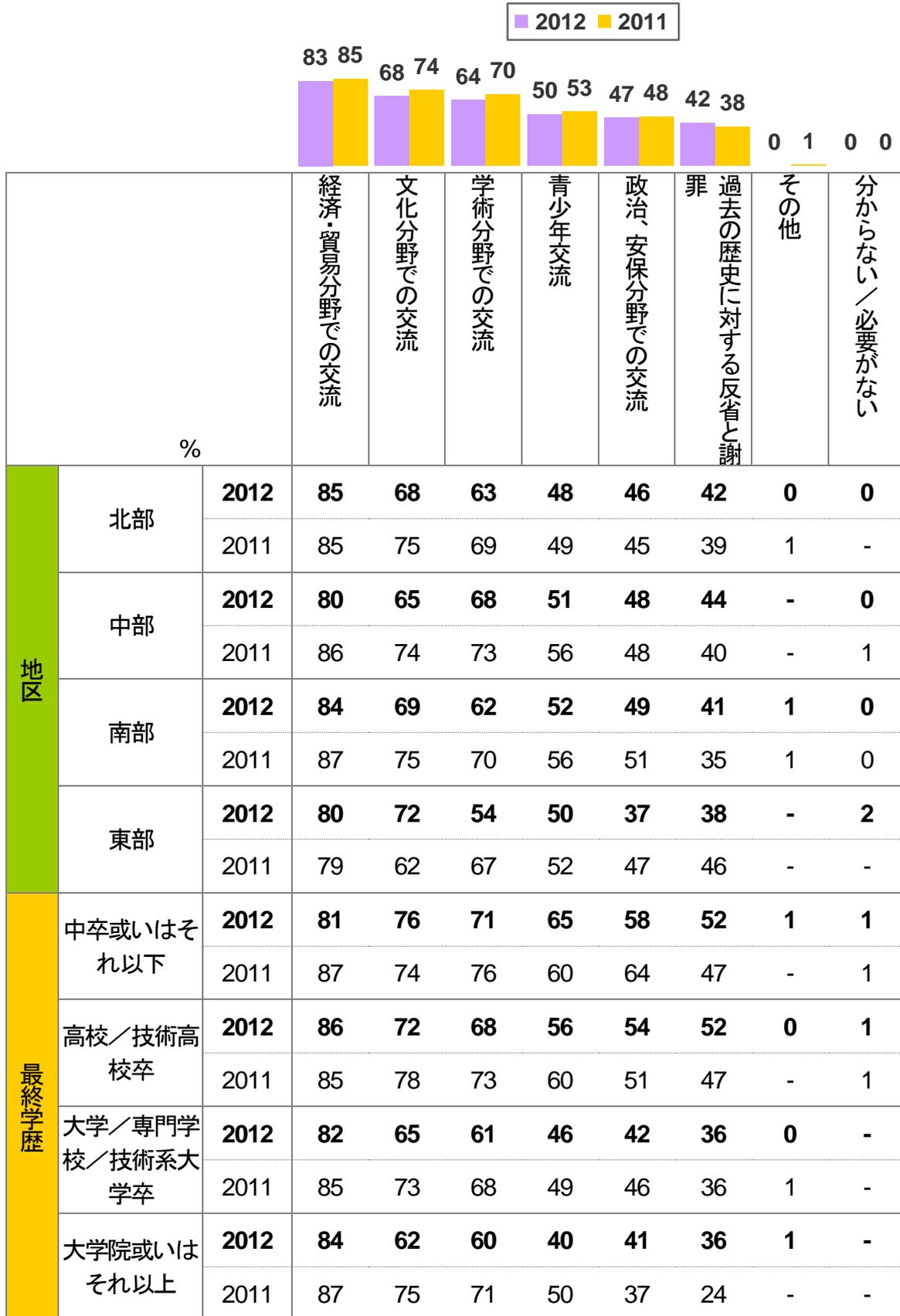
Q16: 日台関係発展のため、どの分野を積極的に推進するべきと考えますか(複数回答可)。

(I)



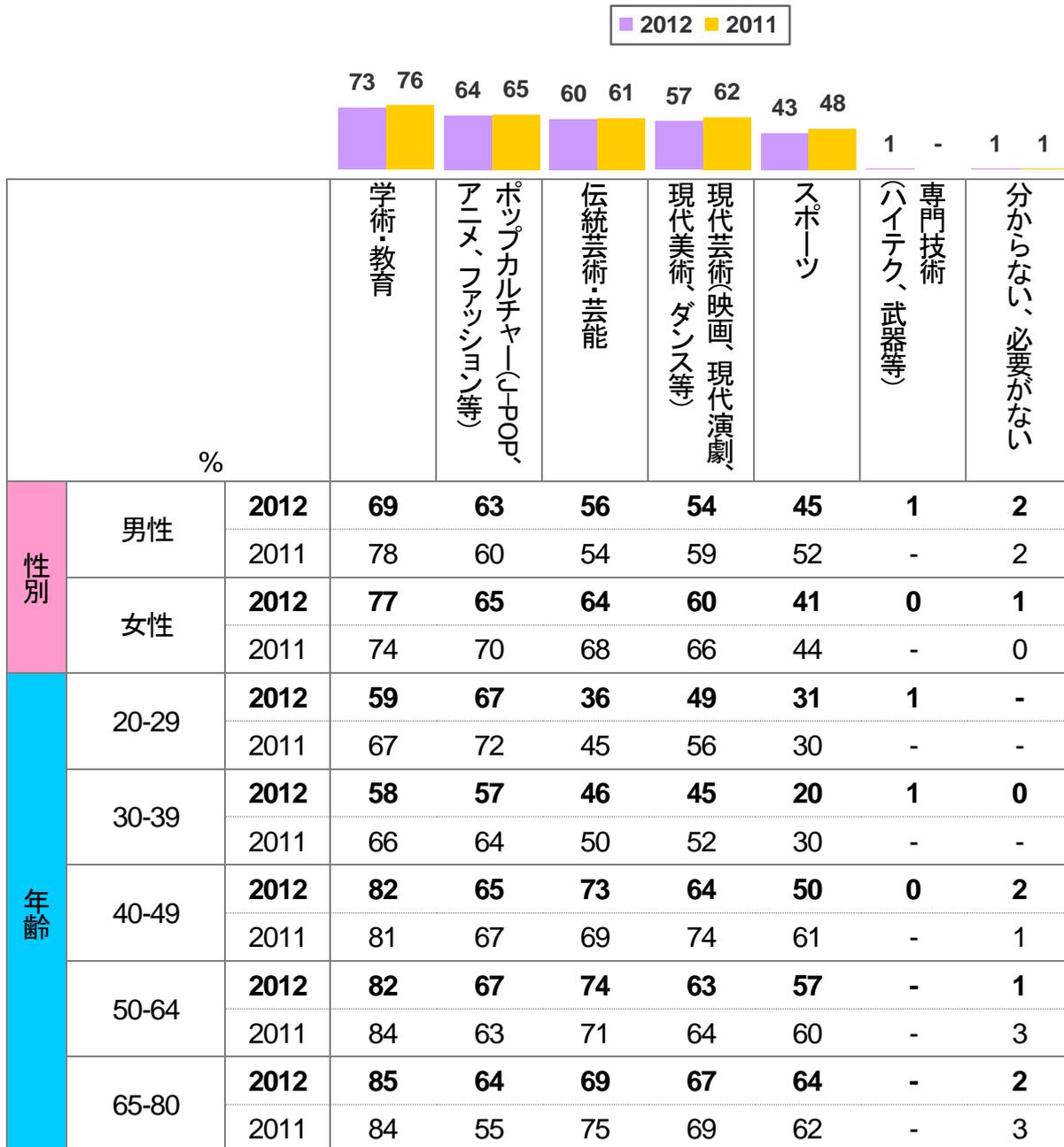
Q16: 日台関係発展のため、どの分野を積極的に推進するべきと考えますか(複数回答可)。

(II)



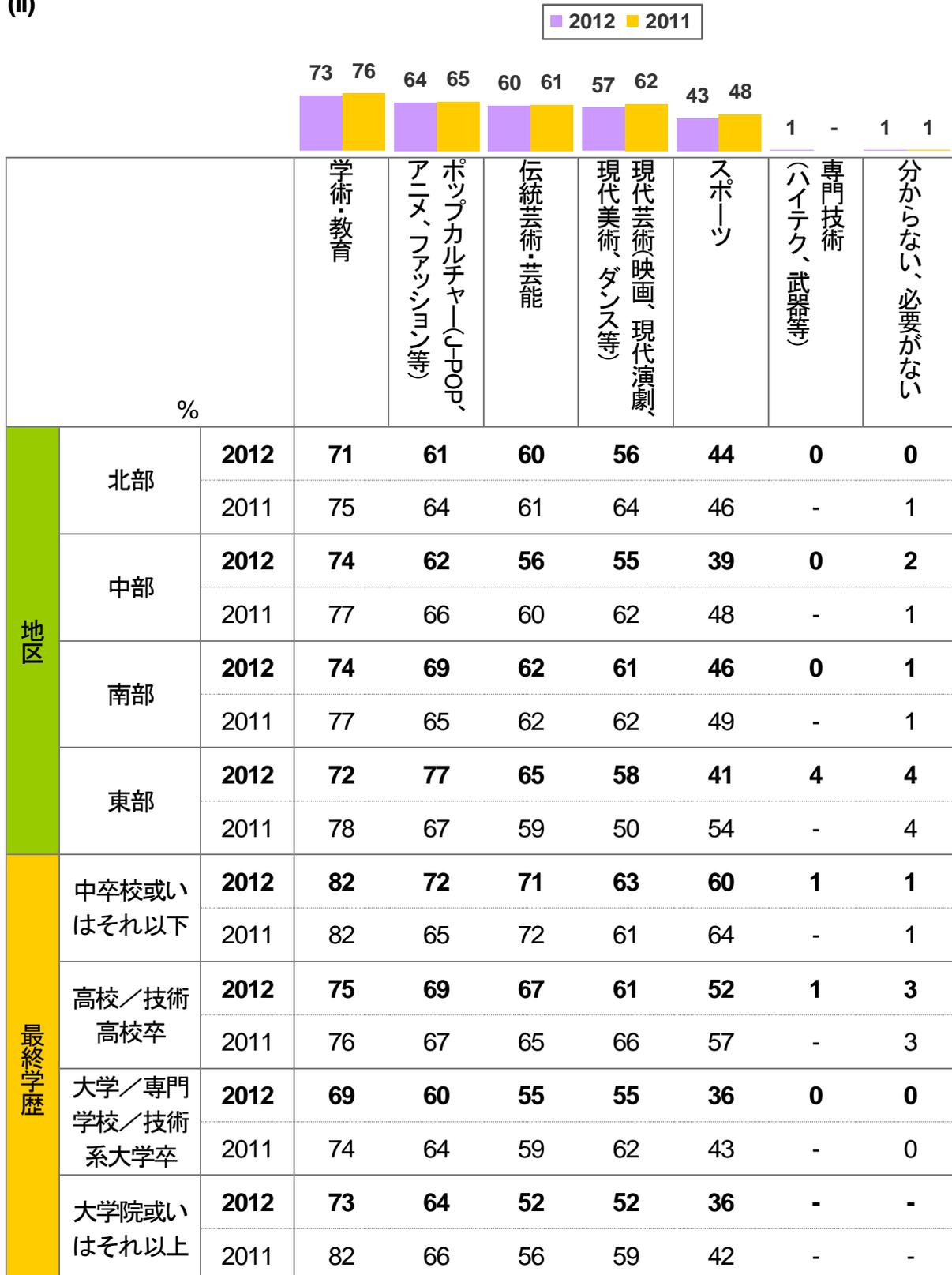
Q17: 日台間の文化交流で、今後積極的に取り組むべき分野は以下のどれと考えますか(複数回答可)。

(I)



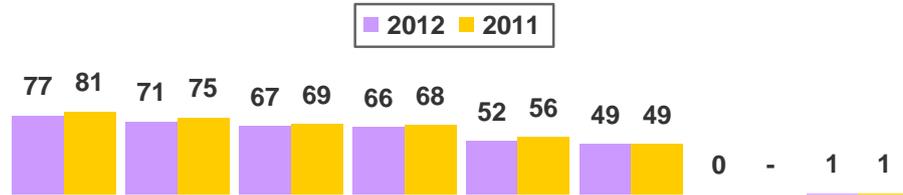
Q17: 日台間の文化交流で、今後積極的に取り組むべき分野は以下のどれと考えますか(複数回答可)。

(II)



Q18: 日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか(複数回答可)。

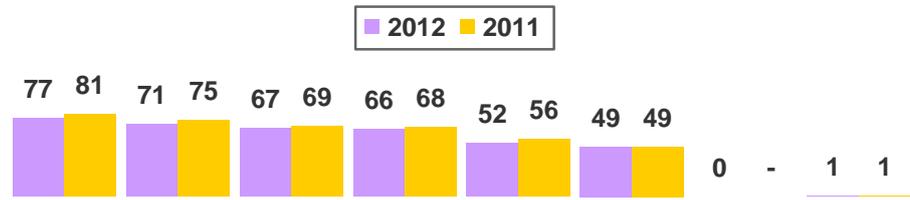
(I)



		%	文化・芸術の交流	留学生交流	ワーキングホリデー等の草の根交流	研究者交流	スポーツ交流	高校生以下の学校間交流	その他	分からない／必要がない
性別	男性	2012	73	70	61	63	55	51	0	2
		2011	78	72	65	67	58	51	-	1
	女性	2012	81	72	74	68	49	46	0	1
		2011	84	78	72	69	53	46	-	0
年齢	20-29	2012	67	56	67	41	32	36	1	-
		2011	71	71	77	53	33	37	-	-
	30-39	2012	68	49	60	42	30	28	0	0
		2011	74	53	59	46	38	32	-	-
	40-49	2012	87	82	71	83	68	61	-	2
		2011	88	86	71	82	70	57	-	0
	50-64	2012	83	87	73	86	67	62	-	2
		2011	87	82	71	83	69	60	-	3
	65-80	2012	75	85	63	76	63	56	-	4
		2011	87	85	67	79	75	61	-	1

Q18: 日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか(複数回答可)。

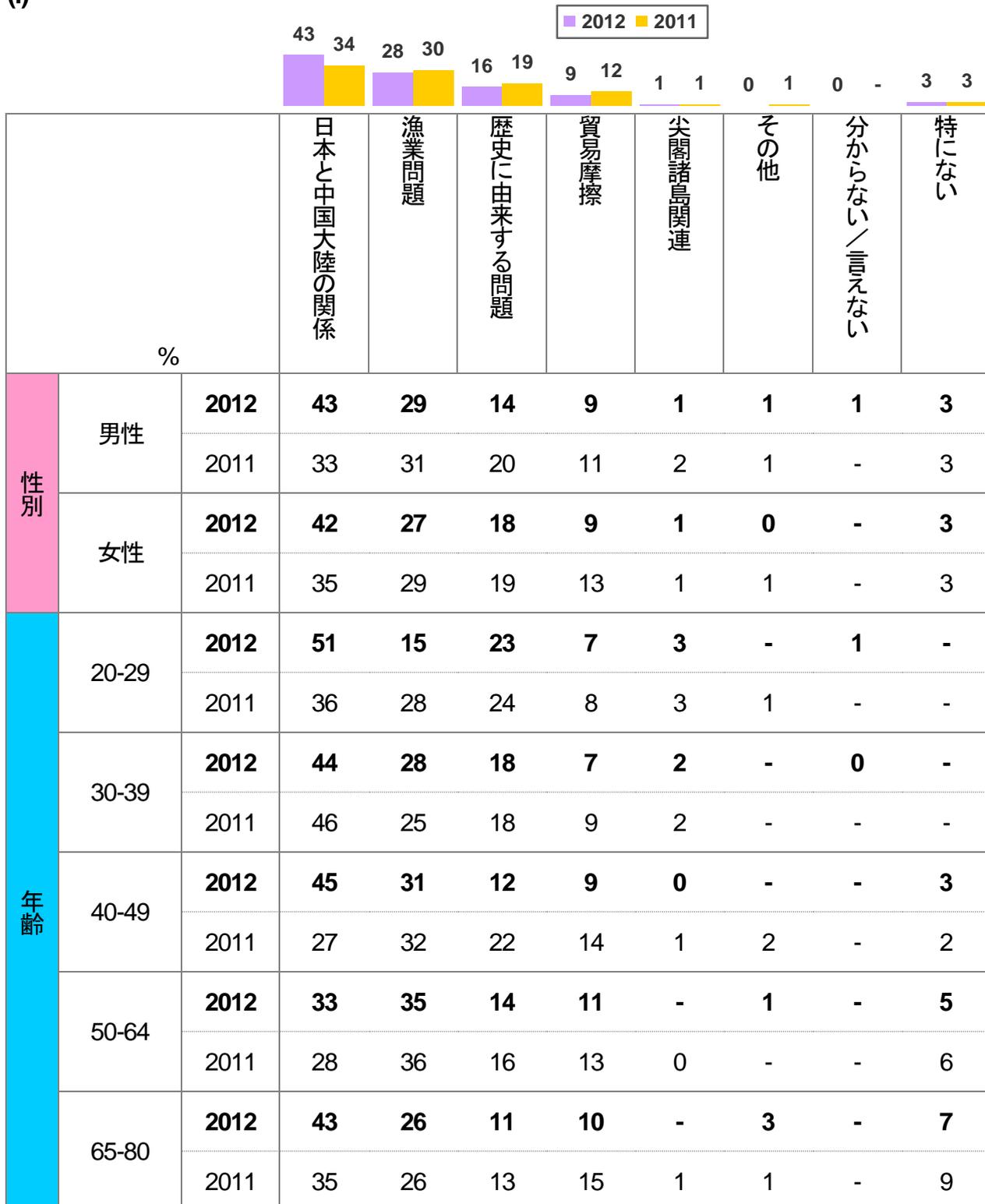
(II)



		%	文化・芸術の交流	留学生交流	ワーキングホリデー等の草の根交流	研究者交流	スポーツ交流	高校生以下の学校間交流	その他	分からない／必要がない
地区	北部	2012	74	71	68	66	53	50	0	1
		2011	80	75	71	64	55	45	-	1
	中部	2012	78	67	61	64	50	47	-	2
		2011	77	78	66	71	57	53	-	1
	南部	2012	80	74	73	65	52	48	-	1
		2011	86	72	68	71	55	51	-	1
東部	2012	80	85	58	74	49	51	-	4	
	2011	86	77	75	70	60	47	-	1	
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	76	86	67	81	64	60	-	3
		2011	86	88	59	77	68	49	-	-
	高校／技術 高校卒	2012	81	76	65	73	59	58	0	3
		2011	83	77	66	75	63	59	-	3
	大学／専門 学校／技術 系大学卒	2012	75	66	70	59	47	44	0	1
		2011	80	73	70	62	52	44	-	0
大学院或いはそれ以上	2012	76	66	61	62	46	39	-	1	
	2011	79	72	76	77	52	48	-	-	

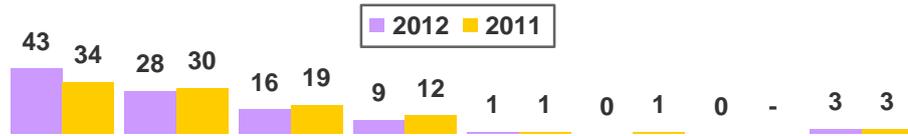
Q19: 日台間で最も心配に感じている案件は以下のどれですか(一つ選択)。

(I)



Q19: 日台間で最も心配に感じている案件は以下のどれですか(一つ選択)。

(II)

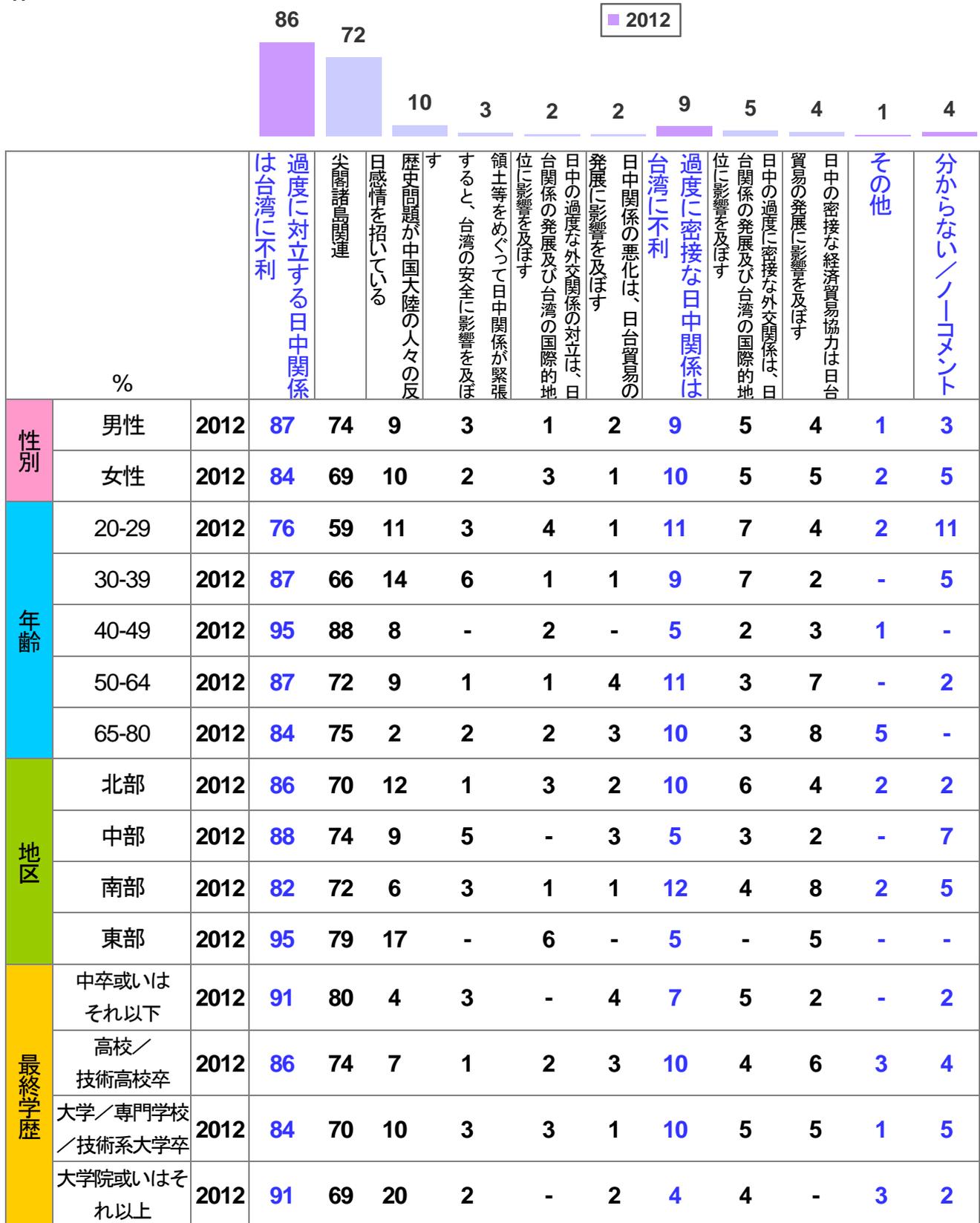


		%	日本と中国大陸の関係	漁業問題	歴史に由来する問題	貿易摩擦	尖閣諸島関連	その他	分からない／言えない	特にない
地区	北部	2012	46	26	16	8	1	1	0	3
		2011	34	31	19	11	2	0	-	2
	中部	2012	39	28	18	12	0	-	0	3
		2011	35	33	17	11	1	1	-	2
	南部	2012	42	30	15	9	1	0	0	3
		2011	36	27	18	12	1	1	-	4
東部	2012	38	36	14	7	2	-	-	3	
	2011	19	24	30	17	-	-	-	10	
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	32	30	15	12	-	1	1	9
		2011	37	18	17	14	-	1	-	13
	高校／技術 高校卒	2012	43	32	13	9	0	-	0	3
		2011	30	33	19	14	0	0	-	3
	大学／専門 学校／技術 系大学卒	2012	44	26	18	8	2	1	-	2
		2011	34	31	18	11	2	1	-	2
	大学院或いはそれ以上	2012	47	28	16	7	-	-	1	1
		2011	38	27	24	9	2	-	-	-

Q20: (設問 19. で「日本と中国大陸の関係」と答えた方のみ)

具体的にはどのようなことを心配していますか。

(I) 注: 今年新たに追加した設問で、自由回答方式。



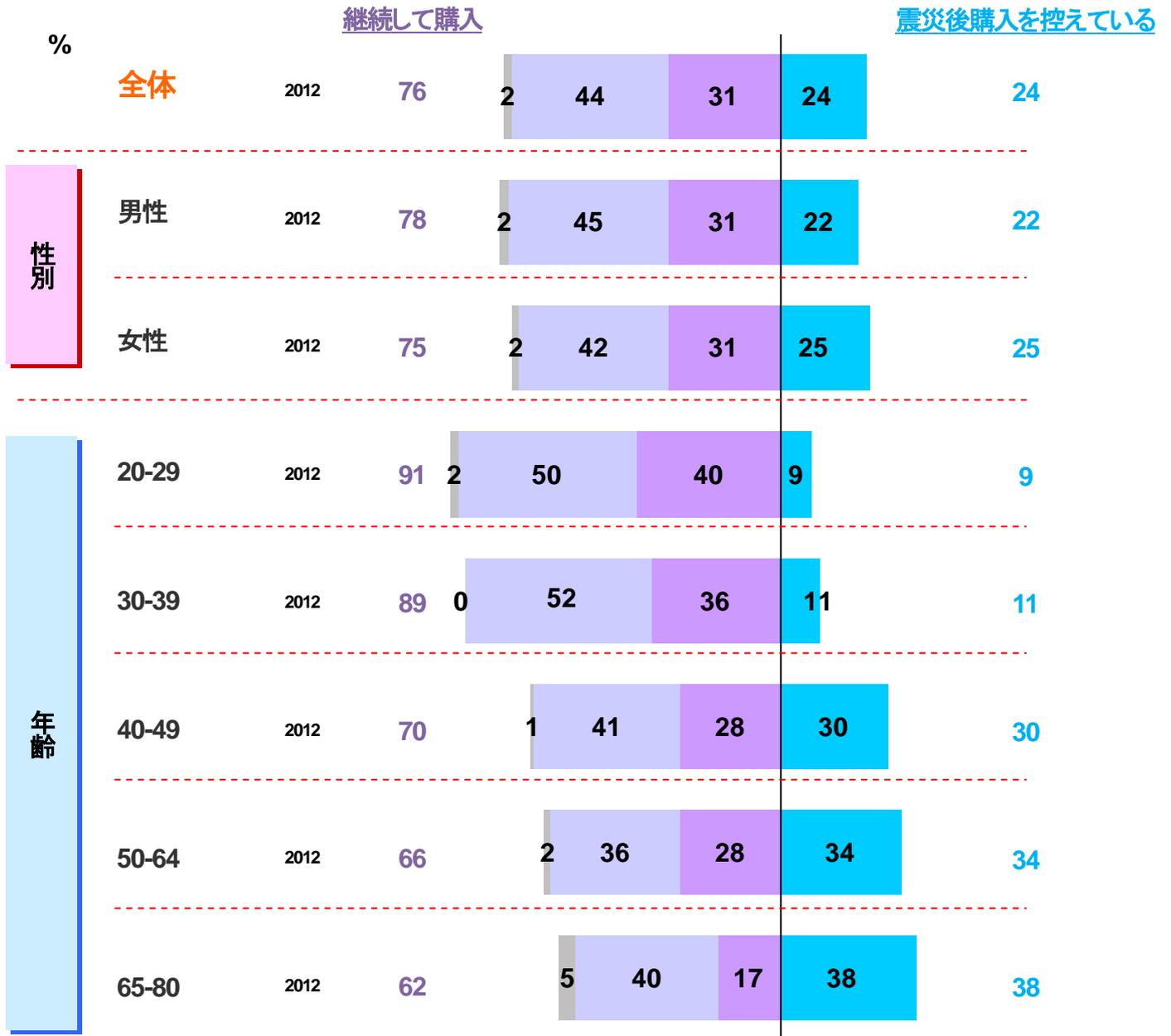
注: 「過度に密接な日中関係は台湾に不利」は、これ以降の五項目の回答を含む。

「過度に密接な日中関係は台湾に不利」は、これ以降の二項目の回答を含む。

Q21:東日本大震災後、日本の食品の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(I) 注:2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

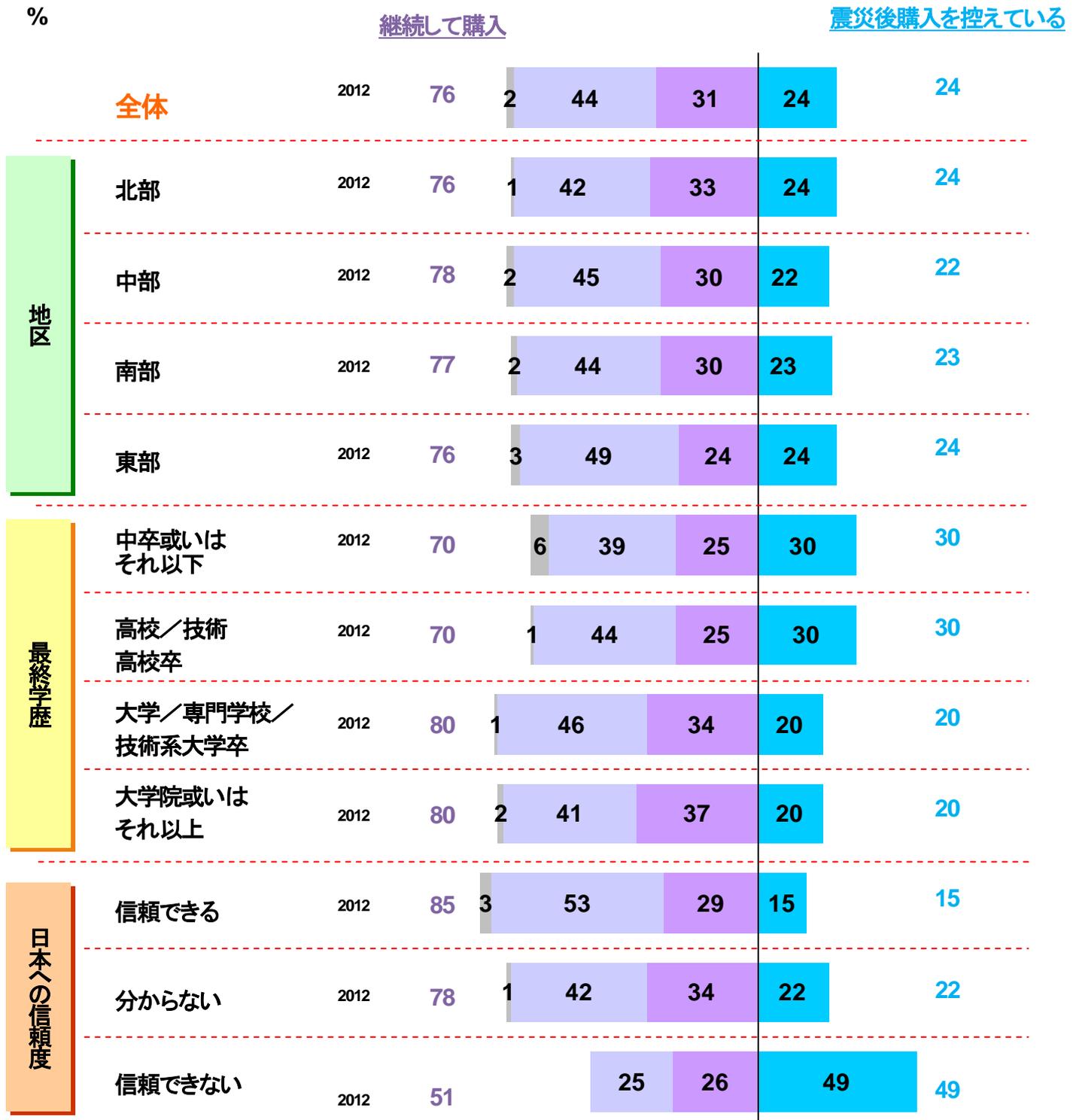
- 震災直後から積極的に日本の食品を買うようになった
- 震災直後から震災前と変わらず、日本の食品を買っている
- 震災直後は、日本の食品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない
- 震災直後からずっと日本の食品を買うことを控えている



Q21: 東日本大震災後、日本の食品の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(II) 注: 2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

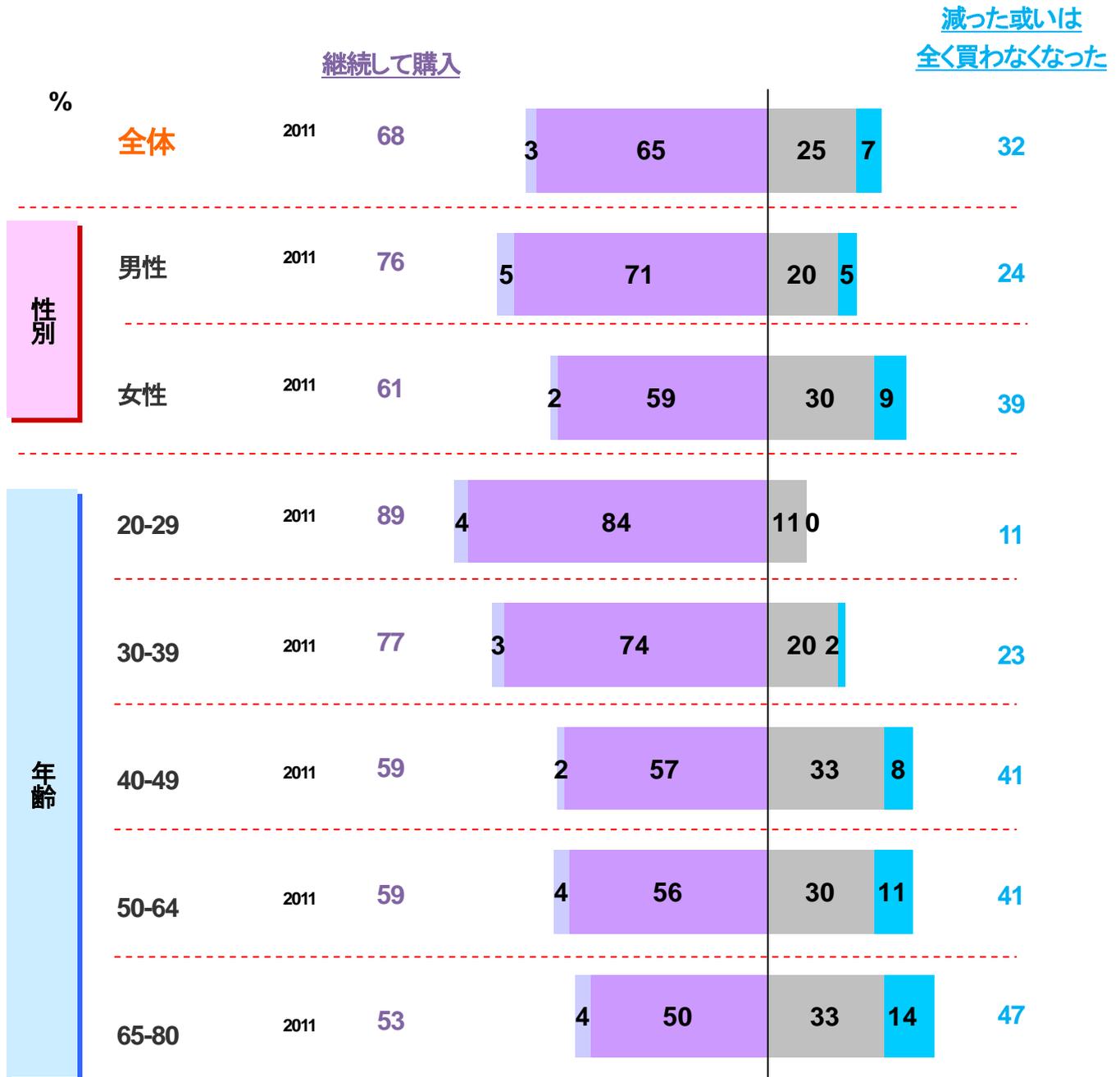
- 震災直後から積極的に日本の食品を買うようになった
- 震災直後から震災前と変わらず、日本の食品を買っている
- 震災直後は、日本の食品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない
- 震災直後からずっと日本の食品を買うことを控えている



Q21: 東日本大震災後、日本の食品の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(III) 注: 2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

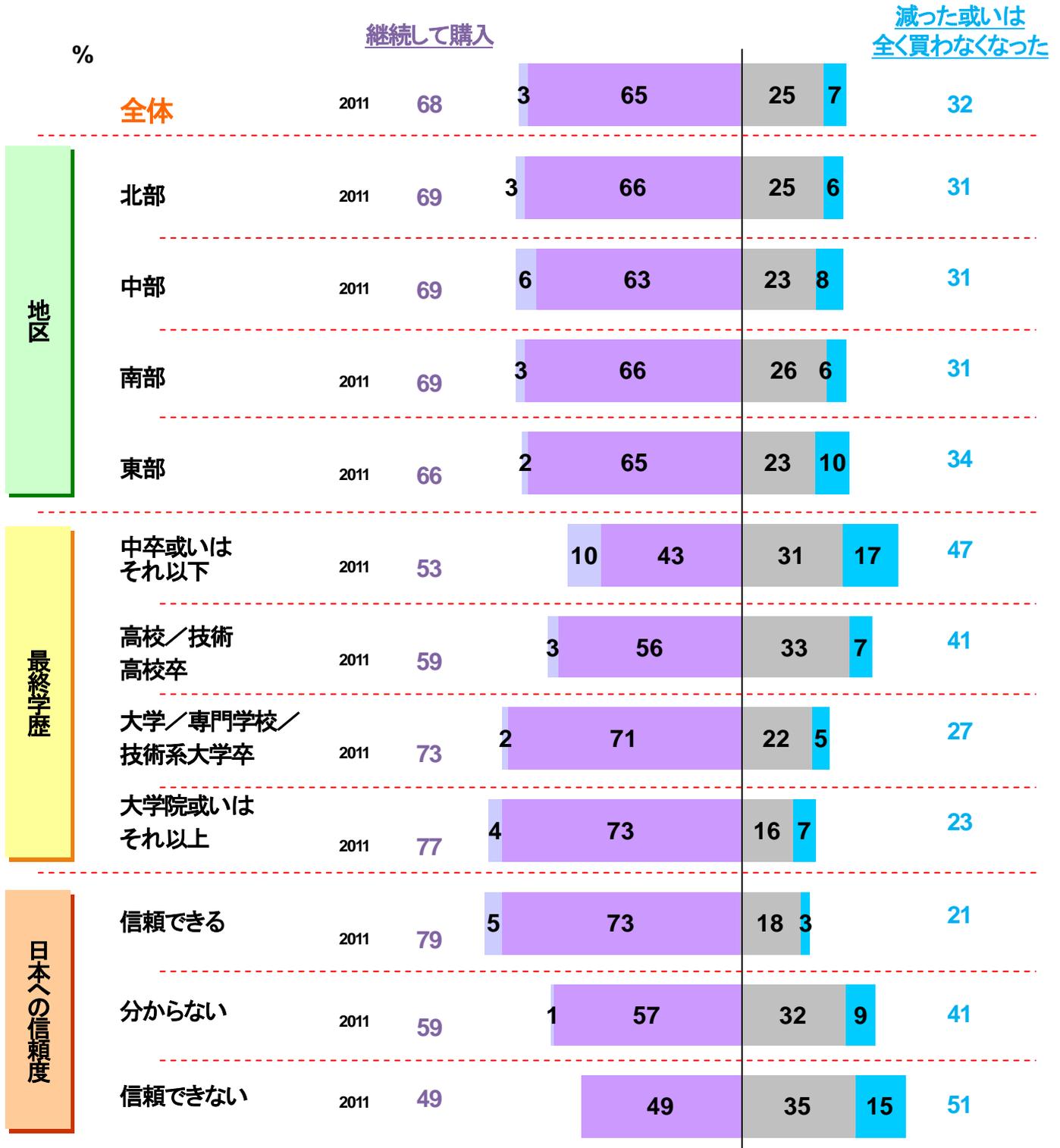
- 日本の食品を買うことが
震災以前より増えた
- 震災前と
特に変化はない
- 日本の食品を買うことが
震災以前より減った
- 日本の食品を
全く買わなくなった



Q21: 東日本大震災後、日本の食品の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

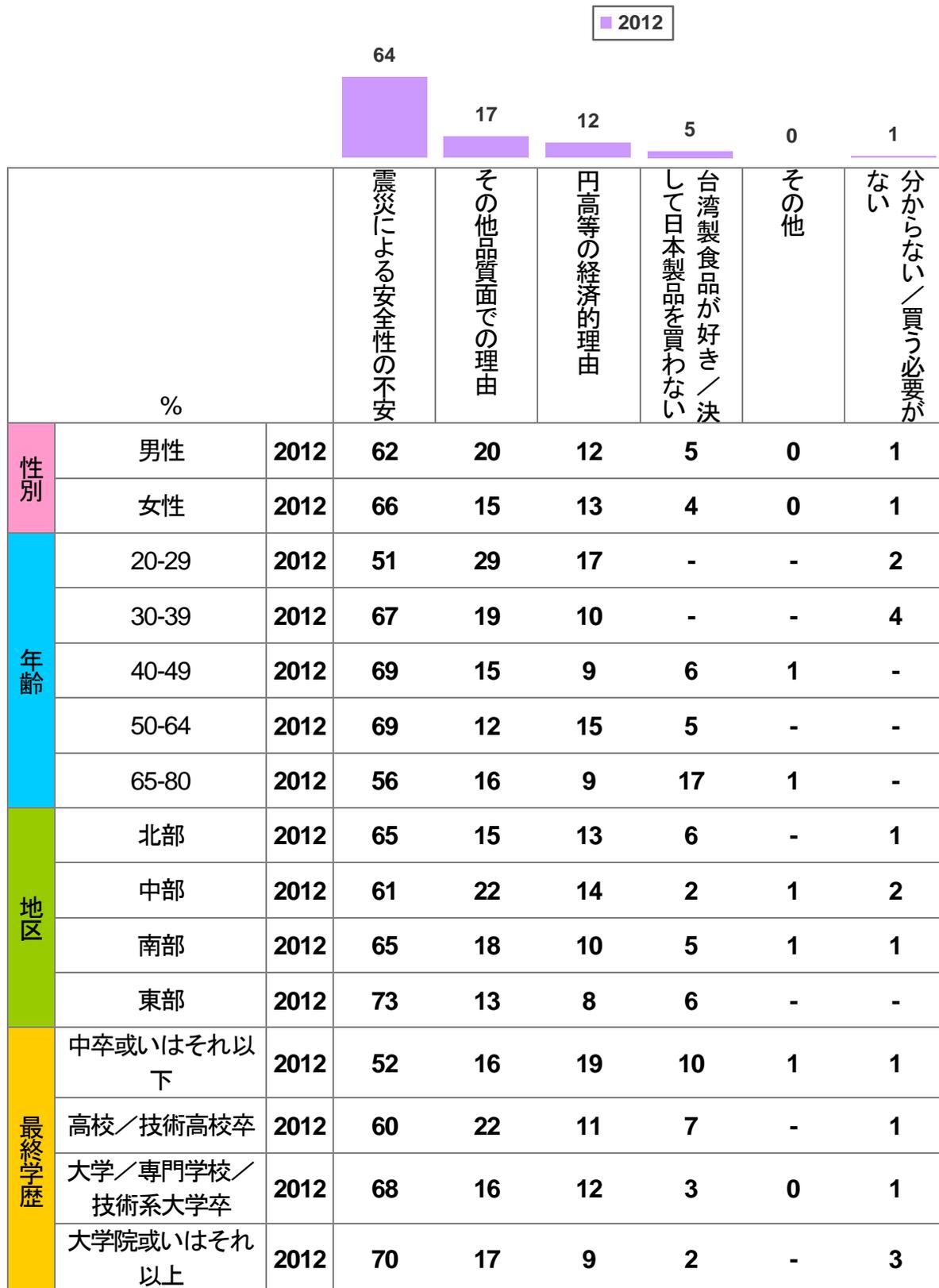
(IV) 注:2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

- 日本の食品を買うことが
震災以前より増えた
- 震災前と
特に変化はない
- 日本の食品を買うことが
震災以前より減った
- 日本の食品を
全く買わなくなった



Q22: 問 21.の設問で、「震災直後からずっと日本の食品を買うこと控えている」、及び「震災直後は、日本の食品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない」、を回答された方で、その理由につき最も当てはまるものを選択してください (一つ選択)。

(I) 注: 2011 年と 2012 年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。



Q22: 問 21. の設問で、「日本の食品を買うことが東日本大震災以前より減った」、及び「日本の食品を全く買わなくなった」、を回答された方で、その理由につき最も当てはまるものを選択してください (一つ選択)。

(II) 注: 2011 年と 2012 年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

			87	9	3	0
			安全性の不安	円高等の経済的理由	から希望する商品が買えないか	その他
			%			
性別	男性	2011	92	5	2	1
	女性	2011	84	11	5	-
年齢	20-29	2011	84	16	-	-
	30-39	2011	87	11	3	-
	40-49	2011	92	4	4	-
	50-64	2011	88	6	6	-
	65-80	2011	81	16	-	2
地区	北部	2011	90	6	3	-
	中部	2011	84	12	4	-
	南部	2011	84	11	4	1
	東部	2011	100	-	-	-
最終学歴	中卒校或いはそれ以下	2011	81	14	5	-
	高校／技術高校卒	2011	83	11	5	-
	大学／専門学校／技術系大学卒	2011	90	7	2	1
	大学院或いはそれ以上	2011	96	-	4	-

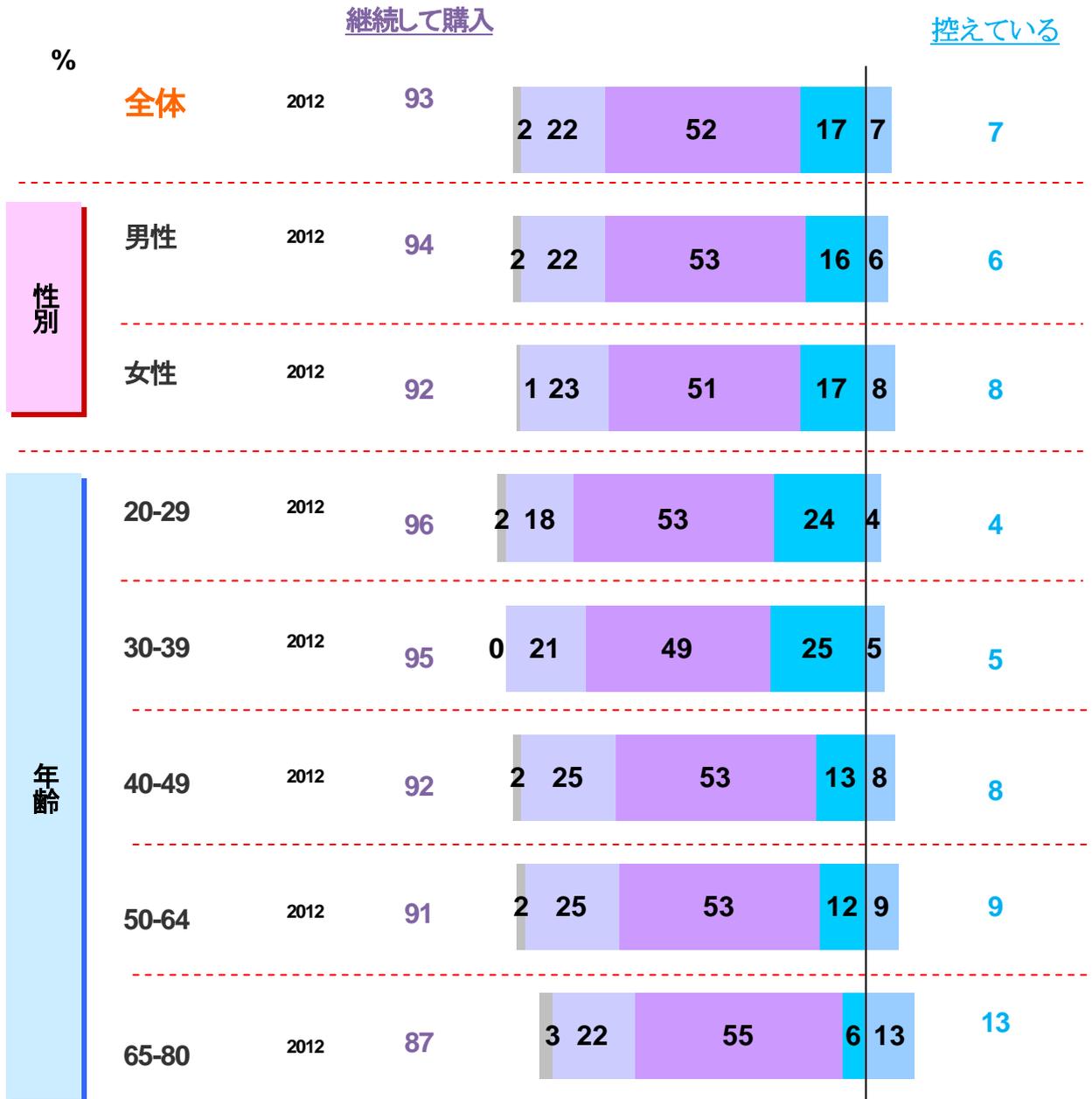
Q23: 東日本大震災後、日本製品(食品除く)の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(I) 注: 2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

- 積極的に日本の製品を買うようになった
- 生産地を確認して購入
- 震災直後から今も震災前と特に変化はない
- 震災直後は、日本の製品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない
- 日本から輸入される製品の購入を控えている

震災後購入を

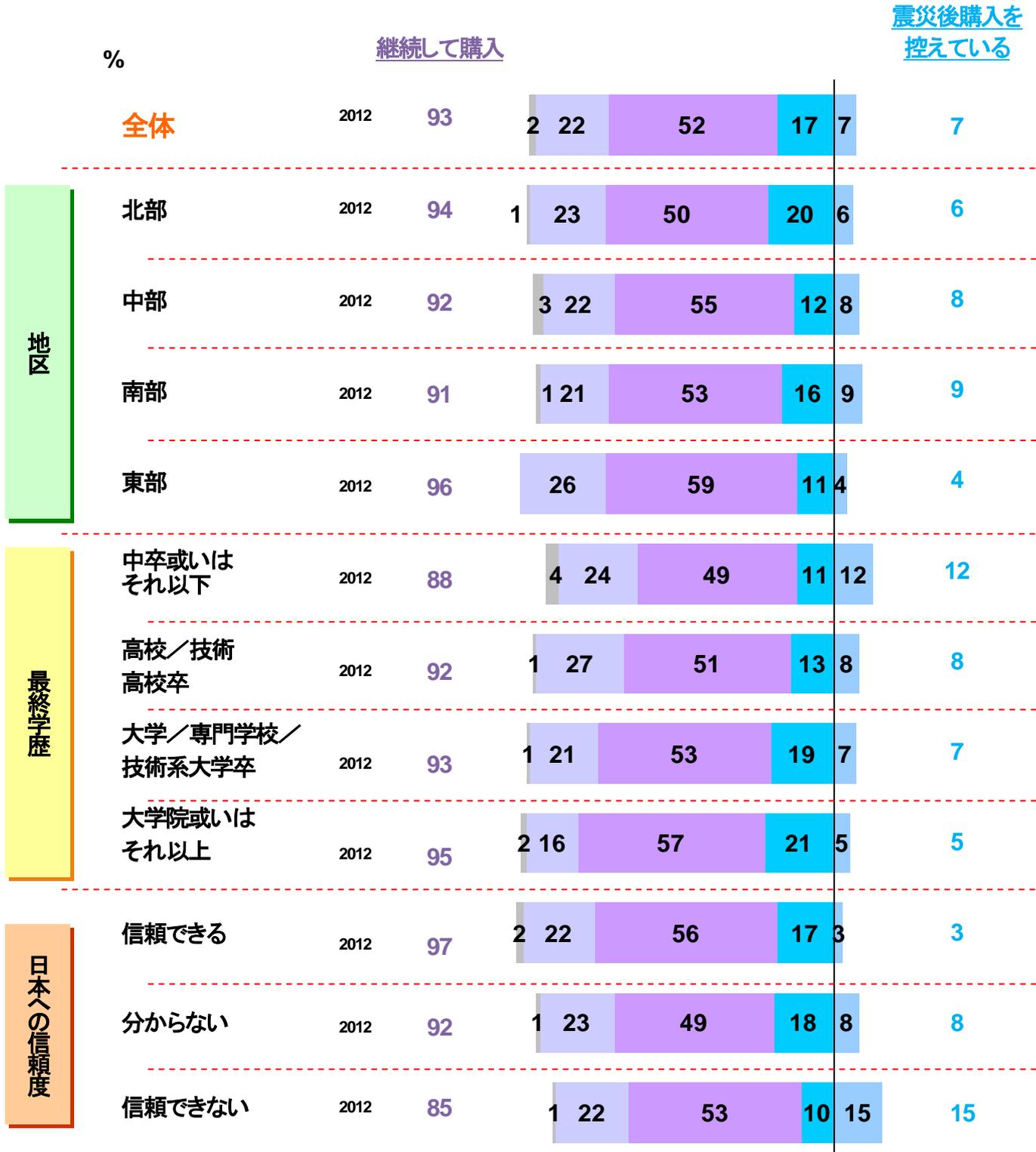
控えている



Q23: 東日本大震災後、日本製品(食品除く)の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(II) 注:2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

- 積極的に日本の製品を
買うようになった
- 生産地を確認して購入
- 震災直後から今も
震災前と特に変化はない
- 震災直後は、日本の製品を買うことを控えて
いたが、現在は震災前と変わらない
- 日本から輸入される製品
の購入を控えている



Q23: 東日本大震災後、電化製品等日本製品(食品除く)の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(III) 注: 2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

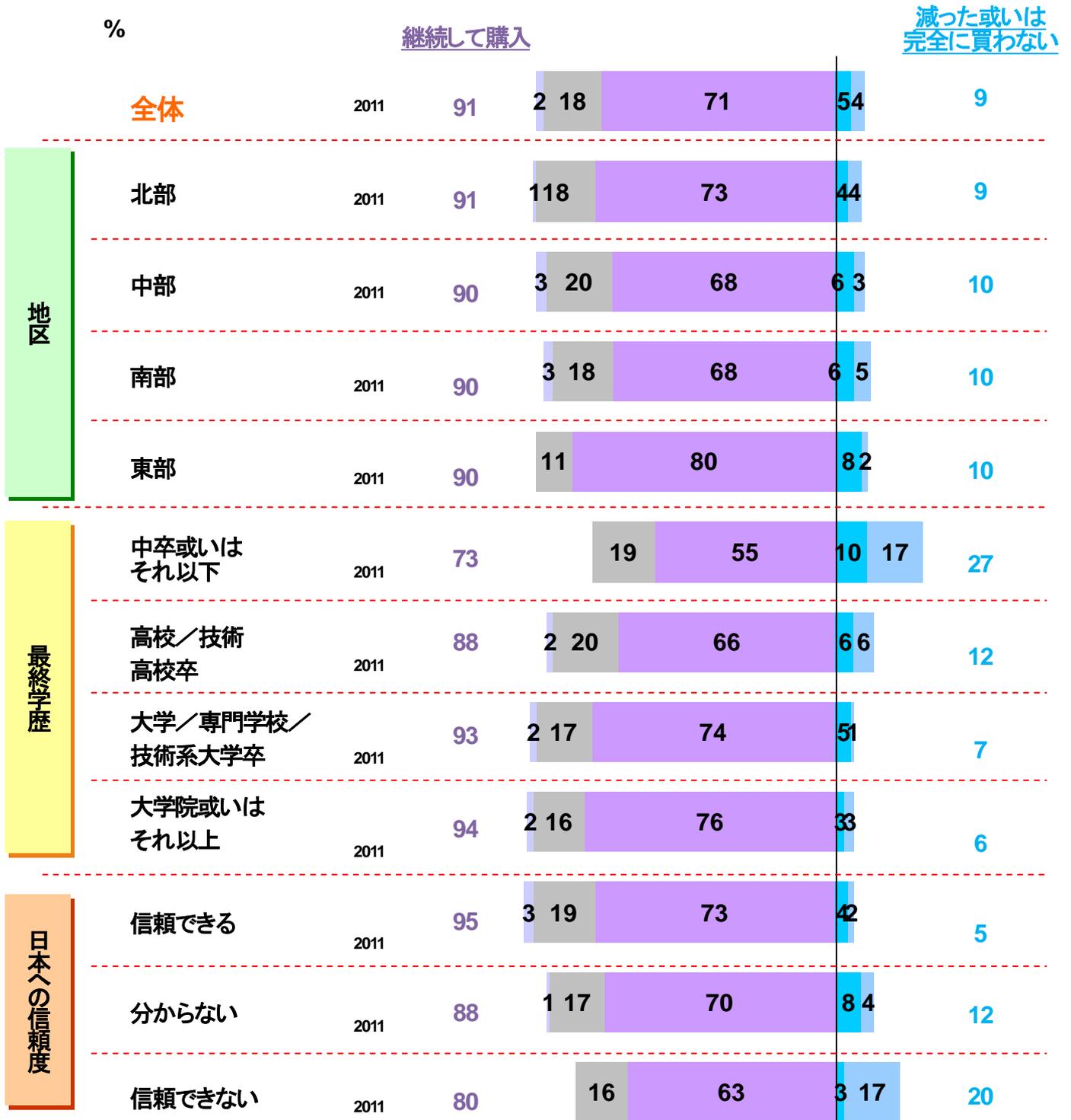
- 積極的に日本の製品を買うようになった
- 生産地を確認して購入
- 震災前と特に変化はない
- 震災前より購入機会が減った
- 日本から輸入される製品を全く買わなくなった



Q23: 東日本大震災後、電化製品等日本製品(食品除く)の購入につき最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(IV) 注:2011年と2012年では、選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

- 積極的に日本の製品を買うようになった
- 生産地を確認して購入
- 震災前と特に変化はない
- 震災前より購入機会が減った
- 日本から輸入される製品を全く買わなくなった



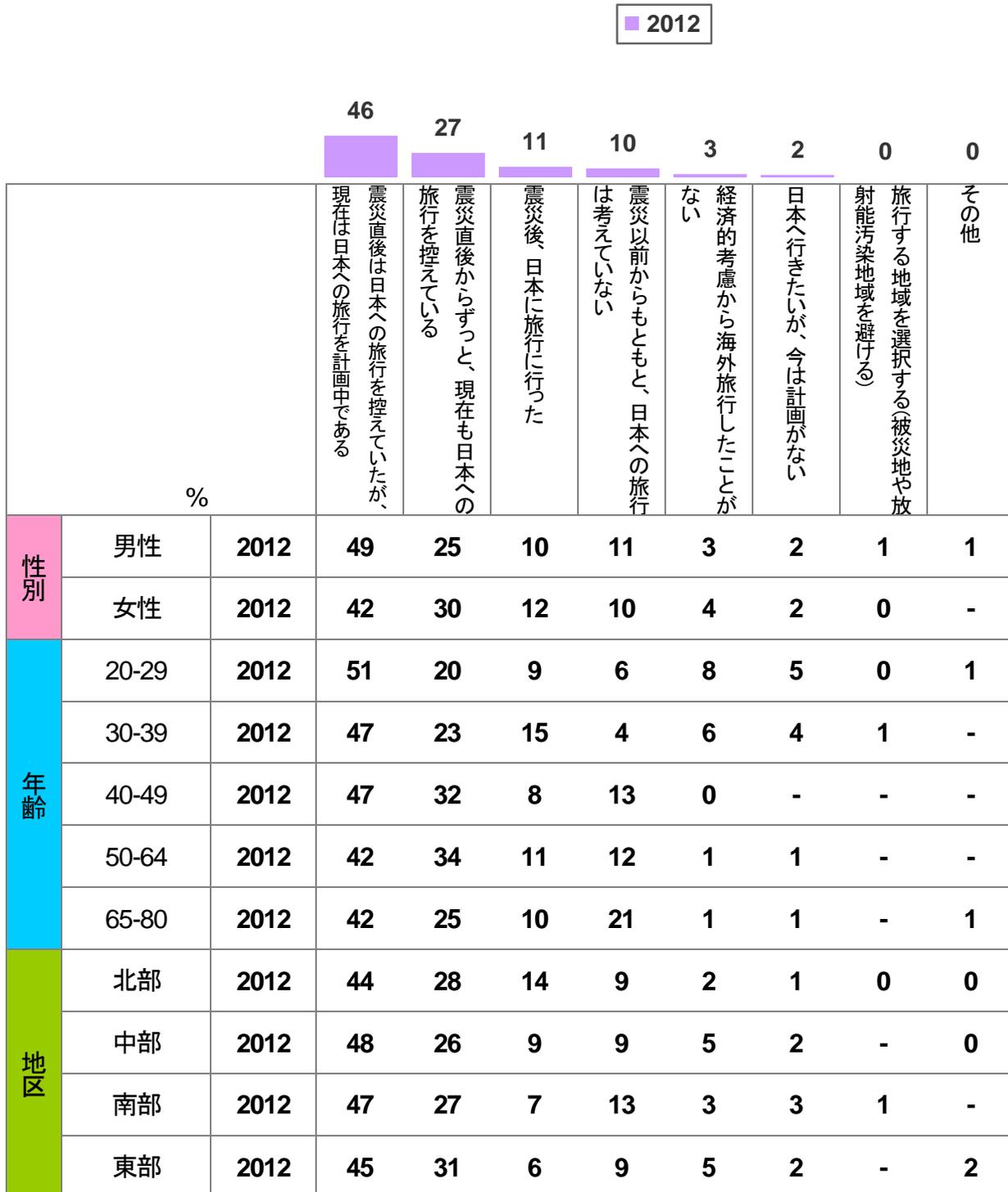
Q24: 問 23. の設問で、「日本から輸入される製品の購入を控えている」、「生産地を確認してから購入」、及び「震災直後は、日本の製品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない」を回答された方は、その理由につき最も当てはまるものを選択してください（一つ選択）。

(I) 注: 今年新たに追加した設問。

		2012					
			62	24	12	1	1
		%	震災による安全性の不安	その他品質面での理由	円高等の経済的理由	台湾製品が好き／絶対日本製品を買わない	その他
性別	男性	2012	60	27	11	2	0
	女性	2012	65	21	12	1	1
年齢	20-29	2012	52	27	19	-	1
	30-39	2012	67	21	12	-	-
	40-49	2012	65	22	8	2	2
	50-64	2012	64	25	9	2	-
	65-80	2012	61	22	11	5	2
地区	北部	2012	62	24	12	1	1
	中部	2012	60	29	9	1	2
	南部	2012	63	21	13	2	-
	東部	2012	82	5	13	-	-
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	57	24	14	4	2
	高校／技術高校卒	2012	59	27	9	3	1
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	65	23	12	0	-
	大学院或いはそれ以上	2012	65	19	14	-	2

Q25: 東日本大震災後、日本への観光旅行について、最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(I) 注: 2011年と2012年では、回答選択項目が異なるため、直接比較には適さない。



Q25: 東日本大震災後、日本への観光旅行について、最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

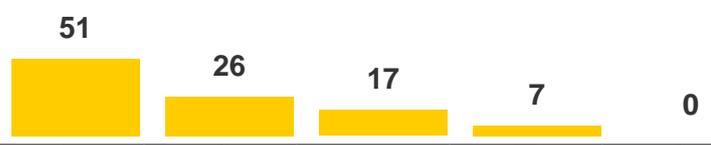
(II) 注:2011年と2012年では、回答選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

		■ 2012									
		46	27	11	10	3	2	0	0		
		現在又は日本への旅行を計画中である	震災直後は日本への旅行を控えていたが、現在は日本への旅行を計画中である	震災直後からずっと、現在も日本への旅行を控えている	震災後、日本に旅行に行った	震災以前からもともと、日本への旅行は考えていない	ない	経済的考慮から海外旅行したことがない	日本へ行きたいが、今は計画がない	旅行する地域を選択する(被災地や放射能汚染地域を避ける)	その他
		%									
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	47	30	6	15	1	-	-	1	
	高校/技術高校卒	2012	41	34	9	14	1	1	-	0	
	大学/専門学校/技術系大学卒	2012	48	23	12	8	5	3	1	-	
	大学院或いはそれ以上	2012	41	29	14	9	4	3	-	-	
日本への信頼度	信頼できる	2012	54	21	12	5	5	3	1	0	
	分からない	2012	45	30	12	8	3	2	0	0	
	信頼できない	2012	28	36	5	30	1	1	-	-	

Q25: 日本への観光旅行について、最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

(III) 注: 2011年と2012年では、回答選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

2011



		%	しばらくは日本への旅行を控えている	そもそも、日本への旅行は考えていない	日本への旅行を計画中である	震災後、日本に旅行に行った	その他
性別	男性	2011	47	28	18	7	1
	女性	2011	54	24	15	6	0
年齢	20-29	2011	54	21	20	5	-
	30-39	2011	52	13	22	11	2
	40-49	2011	54	27	15	4	-
	50-64	2011	49	31	13	7	-
	65-80	2011	38	45	13	4	-
地区	北部	2011	50	23	18	10	-
	中部	2011	50	25	20	4	1
	南部	2011	52	30	12	4	1
	東部	2011	52	28	16	4	-

Q25: 日本への観光旅行について、最も当てはまるものを選択してください(一つ選択)。

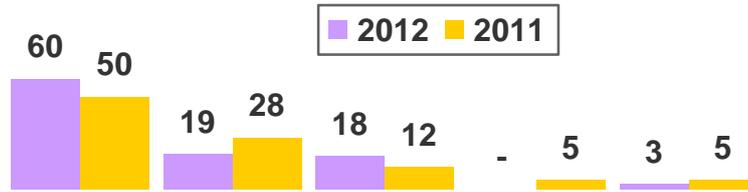
(IV) 注:2011年と2012年では、回答選択項目が異なるため、直接比較には適さない。

■ 2011

		2011					
		51	26	17	7	0	
		しばらくは日本への旅行を控えている	そもそも、日本への旅行は考えていない	日本への旅行を計画中である	震災後、日本に旅行に行った	その他	
%							
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2011	41	44	14	1	-
	高校／技術高校卒	2011	52	31	12	4	-
	大学／専門学校／技術系大学卒	2011	53	22	18	7	1
	大学院或いはそれ以上	2011	44	20	23	12	1
日本への信頼度	信頼できる	2011	52	15	22	10	1
	分からない	2011	51	34	12	3	0
	信頼できない	2011	39	53	5	4	-

Q26: 問 25. の設問で、「震災直後からずっと、現在も日本への旅行を控えている」と回答された方は、その理由として最も当てはまるものを選択してください (一つ選択)。

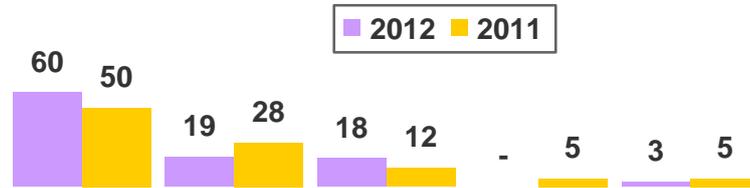
(I) 注:2011 年は、「しばらくは日本への旅行を控えている」と答えた方のみ。



		%	放射能の影響が懸念されるから	円高のため費用が嵩むから	地震・津波が懸念されるから	経済的問題／時間がない	その他	
性別	男性	2012	67	18	14	-	1	
		2011	51	26	12	6	5	
	女性	2012	55	20	21	-	4	
		2011	50	29	12	4	4	
年齢	20-29	2012	65	14	18	-	2	
		2011	36	46	12	3	3	
	30-39	2012	62	20	16	-	2	
		2011	43	34	16	3	4	
	40-49	2012	59	21	20	-	-	
		2011	58	24	9	5	4	
	50-64	2012	61	19	15	-	5	
		2011	57	14	14	10	6	
	65-80	2012	54	18	25	-	3	
		2011	64	15	9	4	8	
	地区	北部	2012	61	16	21	-	1
			2011	58	20	12	6	3
中部		2012	58	21	18	-	3	
		2011	45	33	13	1	7	
南部		2012	62	20	13	-	5	
		2011	48	30	11	6	4	
東部		2012	51	22	20	-	6	
		2011	18	52	16	8	5	

Q26: 問 25. の設問で、「震災直後からずっと、現在も日本への旅行を控えている」と回答された方で、その理由として最も当てはまるものを選択してください (一つ選択)。

(II) 注:2011 年は「しばらくは日本への旅行を控えている」と答えた方のみ。

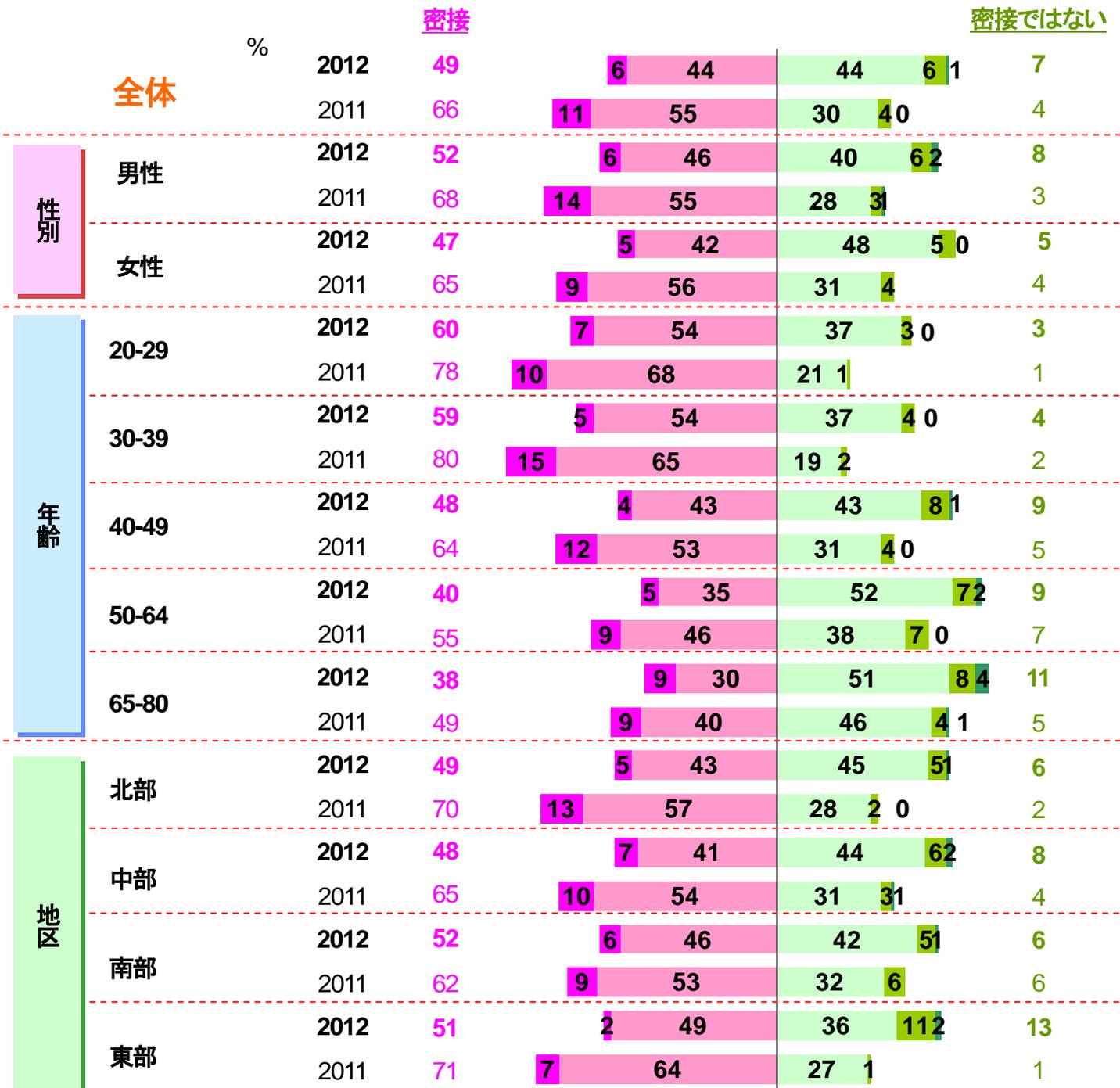


		%	放射能の影響が懸念されるから	円高のため費用が高むから	地震・津波が懸念されるから	経済的問題／時間がない	その他
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	48	26	21	-	5
		2011	59	17	9	8	6
	高校／技術高校卒	2012	56	23	17	-	3
		2011	52	23	17	8	-
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	66	14	18	-	2
2011		48	30	11	4	6	
大学院或いはそれ以上	2012	66	16	18	-	-	
	2011	52	30	10	3	4	
家庭全体の月収	5万以下	2012	55	30	14	-	1
		2011	55	26	13	5	2
	5~10万	2012	65	17	17	-	1
		2011	45	32	14	5	4
10万以上	2012	64	9	20	-	7	
	2011	56	22	12	5	6	
日本への信頼度	信頼できる	2012	57	19	22	-	2
		2011	46	34	11	6	4
	分からない	2012	57	22	18	-	3
		2011	53	23	13	4	6
	信頼できない	2012	75	11	11	-	2
		2011	69	5	19	5	2

Q27: 東日本大震災後、日台関係が、より密接になったと感じますか(一つ選択)。

(I)

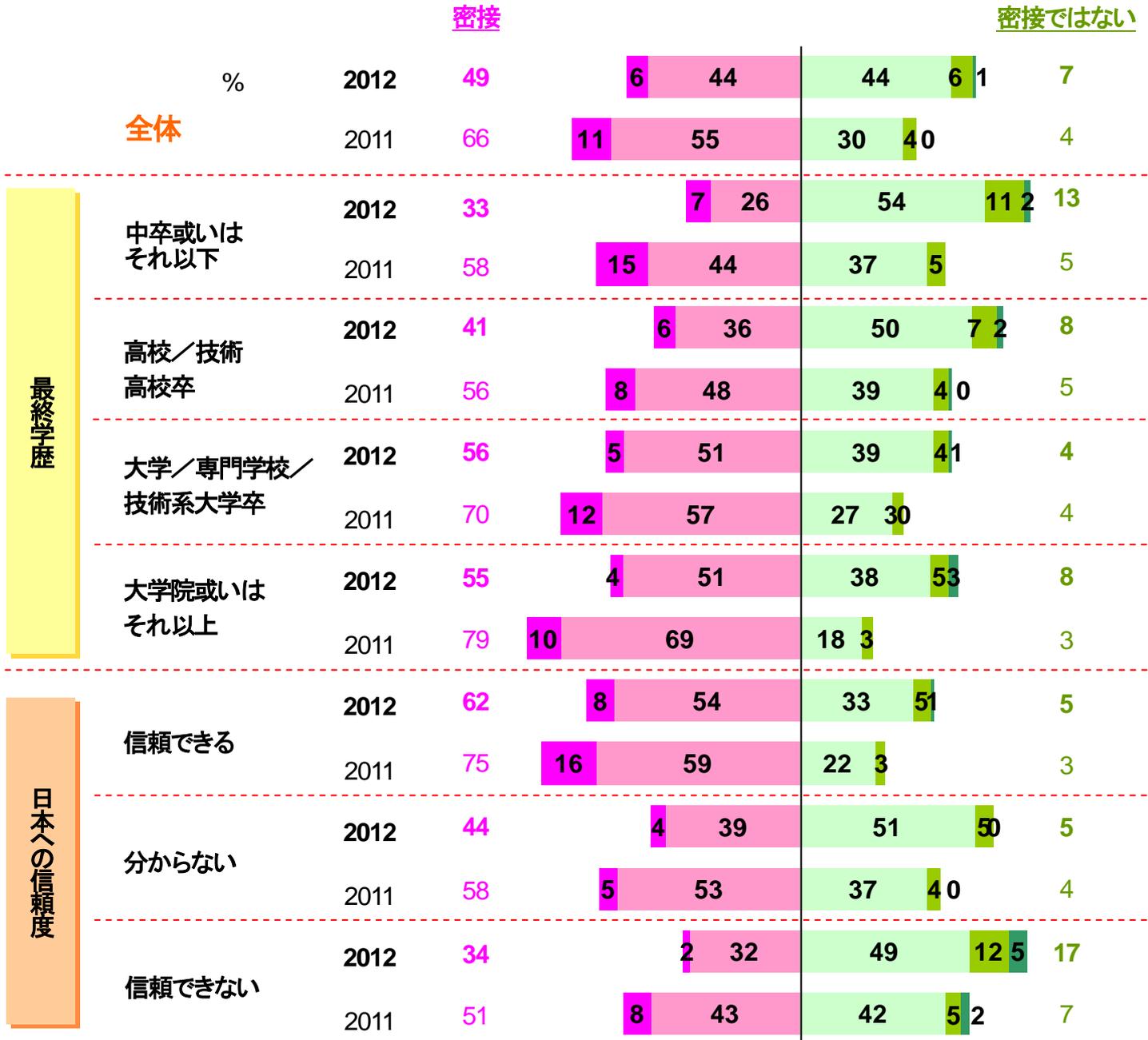
■ 緊密になった ■ やや緊密になった ■ 変わらない ■ やや緊密ではない ■ 緊密ではない



Q27: 東日本大震災後、日台関係が、より密接になったと感じますか(一つ選択)。

(II)

■ 緊密になった ■ やや緊密になった ■ 変わらない ■ やや緊密ではない ■ 緊密ではない



Q28: 今後の日本と台湾の関係は、どのようになって欲しいと思いますか(自由にお書きください)。

(I)

2012 2011

		2423 9 8 8 3 7 10 7 11 6 7 6 5 5 6 5 1 4 6 4 9 3 5 3 5 2 1 2 2 2 1 1 3 1 1 0 2 0 1 1 3 3219																						
		経済・貿易分野での交流／産業提携の活発化 テクノロジー関係の交流／ハイテク技能の交流／技術交流の活発化 尖閣諸島関連の解決 各分野共に交流の向上が必要／協力関係の更なる発展／積極的に交流／互恵になるようにする 文化交流の向上／伝統芸術分野での文化交流の活発化 政治・外交・国防交流の活発化 友好関係維持／安定的な発展 平和的に付き合う 領海に関する意見交換調整が必要 農業・漁業分野の交流／漁業関係の友好／台湾と日本間の領海に関する意見交換調整が必要 全面的により方向に発展する／もっと良い関係に発展 観光交流の活発化 学術・教育交流の活発化 現状維持 青少年・留学生交流の活発化 台湾を尊重し、平等に対応する／台湾のことまじいめないこと 過去の歴史に対する反省と謝罪 民間交流の活発化 人文交流の活発化 国交を結ぶ スポーツ交流の活発化 その他 分からない／ない／自然に任せる																						
%																								
性別	男性	2012	27	13	8	6	8	7	5	4	6	5	2	3	3	2	3	2	1	1	1	0	1	27
	2011	24	9	5	13	12	8	5	4	1	5	6	5	5	1	3	1	3	1	1	1	1	4	17
性別	女性	2012	21	6	8	7	5	5	6	5	4	3	5	3	3	3	1	1	1	0	0	0	1	36
	2011	23	8	2	7	9	6	5	7	1	7	11	4	6	1	2	1	2	1	3	0	2	20	
年齢	20-29	2012	19	4	5	17	8	3	13	11	1	11	3	4	3	0	3	2	1	1	1	-	1	18
		2011	16	4	3	13	10	2	9	8	1	10	5	5	2	1	3	2	2	0	3	0	3	24
	30-39	2012	24	6	4	14	8	4	9	7	1	8	2	1	6	1	2	1	1	0	0	-	1	18
		2011	16	6	3	11	7	3	10	6	1	5	9	2	4	-	1	2	1	1	3	1	2	24
	40-49	2012	25	15	12	-	6	7	2	1	8	-	6	2	2	3	1	2	1	1	-	1	1	38
		2011	32	10	4	7	13	8	1	5	1	5	9	8	9	0	2	1	2	0	2	1	2	14
50-64	2012	26	9	11	0	3	7	1	2	8	0	4	3	2	3	1	2	0	1	1	0	2	43	
	2011	26	11	4	10	13	13	2	5	2	5	11	6	6	3	3	1	5	1	-	1	5	14	
65-80	2012	27	13	5	2	12	9	3	3	6	-	4	7	1	5	1	1	2	1	1	-	1	42	
	2011	25	10	4	8	7	9	6	6	1	6	10	3	4	1	3	-	2	-	2	1	4	18	

Q28: 今後の日本と台湾の関係は、どのようになって欲しいと思いますか(自由にお書きください)。

(II)

■ 2012 ■ 2011

2423 9 8 8 3 7 10 7 11 6 7 6 5 5 6 5 1 4 6 4 9 3 5 3 5 2 1 2 2 2 1 1 3 1 1 0 2 0 1 1 3 32 19

		%																						
		経済・貿易分野での交流／産業提携の活発化	テクノロジー関係の交流／ハイテク技能の交流／技術交流の活発化	尖閣諸島関連の解決	各分野共に交流の向上が必要／協力関係の更なる発展／積極的に交流／互恵になるようにする	文化交流の向上／伝統芸術分野での文化交流の活発化	政治・外交・国防交流の活発化	友好関係維持／安定的な発展	平和的に付き合う	農業・漁業分野の交流／漁業関係の態度の友好／台湾と日本間の領海に関する意見交換調整が必要	全面的により方向に発展する／もっと良い関係に発展	観光交流の活発化	学術・教育交流の活発化	現状維持	青少年・留学生交流の活発化	いじめないこと	台湾を尊重し、平等に対応する／台湾のことをいじめないこと	過去の歴史に対する反省と謝罪	民間交流の活発化	人文交流の活発化	国交を結ぶ	スポーツ交流の活発化	その他	分からない／自然に任せる
地区	北部	2012	23	10	8	7	8	6	5	5	4	5	4	4	3	2	2	2	1	0	0	0	1	32
		2011	22	9	4	10	10	7	5	6	1	7	8	4	6	1	4	1	3	1	1	1	4	18
	中部	2012	23	7	8	5	7	4	7	5	3	3	4	3	2	5	1	2	1	0	0	-	2	35
		2011	23	7	2	10	10	8	6	6	0	4	9	4	5	1	-	1	5	0	3	1	2	19
	南部	2012	24	10	7	8	5	5	4	5	7	4	4	2	4	1	2	1	1	1	1	0	1	30
		2011	24	7	4	9	10	6	7	6	2	6	8	5	5	1	2	1	1	0	2	0	3	20
	東部	2012	35	14	16	7	7	15	10	2	7	5	3	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	21
		2011	27	19	4	13	25	6	2	5	7	10	11	11	2	6	1	-	-	-	1	-	2	18
最終学歴	中卒或いはそれ以下	2012	26	7	6	3	5	5	3	3	7	-	3	3	1	3	1	1	1	1	1	-	1	49
		2011	15	13	4	9	9	5	6	5	4	3	10	3	2	6	2	-	1	-	-	-	3	20
	高校／技術高校卒	2012	23	12	8	3	4	6	2	3	5	2	2	1	4	2	1	0	1	-	0	0	0	43
		2011	25	6	4	7	8	7	3	6	2	7	9	5	10	1	3	-	4	1	2	-	1	20
	大学／専門学校／技術系大学卒	2012	25	8	7	9	8	5	7	6	4	5	5	4	3	3	2	2	1	1	0	0	2	24
		2011	24	8	4	11	11	8	5	5	1	6	9	5	4	0	2	1	2	0	2	1	4	18
	大学院或いはそれ以上	2012	20	9	11	9	9	7	8	2	2	8	4	3	5	2	3	5	3	-	1	-	-	23
		2011	20	9	2	15	14	6	11	10	2	7	3	5	3	2	3	4	3	-	1	1	3	17

結論

一、対日世論、日本のイメージ

- 1.台湾を除き、43%の台湾人が最も好きな国は日本と回答し第1位(前回の調査より2ポイント増)。このうち、40歳以下が最も顕著だった(20代:54%、30代:50%)。第2位のシンガポール(7%)、アメリカ(7%)、中国(7%)に大差をつけた。このほか、台湾が今後最も親しくすべき国は日本と回答した人は29%となり、前回の調査と同じ結果となった。
- 2.最も好きな国は中国大陸と回答した人は7%に止まったのに対し、今後台湾が最も親しくすべき国は中国大陸と回答した人は36%に達した(同1ポイント増)。29歳以下の若者が比較的日本に親近感がある一方、30歳以上の人は台湾は中国と親しくすべきだと考えている(前回の調査結果と比べ、中国に親近感を感じる層が若年化)。
- 3.日本に親しみを感じると回答した人は65%(同10ポイント減)。年齢別で見ると、40歳以下は70%を超える一方、40代は前回の調査より10ポイント減少し、年齢別で見ると減少幅が最大。
- 4.自然、風土(63%)、伝統文化(55%)、日本国民の日常生活(53%)、科学技術(52%)、現代文化とポップカルチャー(45%)が台湾人にとって日本に対し最も関心がある分野。年齢別での関心分野はそれぞれ異なる。このうち、ポップカルチャーは20代の若者が最も関心がある分野。40-64歳の年齢層は自然、風土に最も関心があるほか、2番目に科学技術に関心がある。前回の調査と比較すると、科学技術は6ポイント減少、上位5位の中で減少幅が最大だった。特に、20代と65-80歳の年齢層の減少幅が最大で、それぞれ15ポイント以上減少した。
- 5.自然の美しい国(75%)、経済力や技術力の高い国(72%)、豊かな伝統と文化をもつ国(71%)、決まりを守る(71%)、民主的な国(51%)が台湾人の日本に対する主なイメージ。

二、日本観光と日本に関する情報源

- 1.最も旅行したい国は日本と回答した人は38%で第1位(同1ポイント減)。このうち、40歳以下及び65-80歳の年齢層の割合が他の国より高かった。第2位は、ヨーロッパ(34%、同2ポイント増)、第3位は中国(9%、同5ポイント減)。
- 2.日本に旅行したいと回答した人は83%(同5ポイント減)。特に、40歳以下にその傾向が強い(93%以上)。
- 3.日本観光の魅力は、前回の調査結果の順位と同じで、主に自然環境(79%)、温泉・祭りなどの地方の文化(76%)、清潔さ(69%)、日本料理(68%)、神社・仏閣などの歴史的建造物の町並み(64%)だった。男性は、ハイテク商品(52%)とスポーツ(15%)、女性は、ショッピング(51%)を選択した人が多い。
- 4.TV(41%)はやはり台湾人の日本関連情報を得る主なツール。特に、女性にその傾向が強い。第2位がインターネット(17%)で、主に40歳以下(20代:32%、30代:24%)及び男性(22%)にその傾向が強い。年齢別で見ると、40歳以上が情報を入手する方法は多様化しており、TVのほか、新聞・雑誌或いは自らの訪日経験等が日本関連情報を得る主なツール。
- 5.(公財)交流協会について知っているという回答した人は60%。このうち、30-64歳が知っている割合が高く(30代:67%、40代:62%、50-64歳:63%)、64-80歳及び20代の割合が比較的低かった(20代:51%、65-80歳:49%)。

三、日台関係

- 1.現在の日台関係について良いと回答した人は33%(同20ポイント減)。年齢別で見ると、40歳以下は日台関係について楽観視していることが分かった(20代:41%、30代:43%)。
- 2.日本は信頼できる国と回答した人は39%(同15ポイント減)。40歳以下にその傾向が強い。特に、最も好きな国は日本、台湾が親しくすべき国は日本、日本に対してプラスのイメージしかない人に

その傾向が強いが、前回より減少した。日本を信頼する主な理由として、長い交流の歴史(62%)、文化面での共通性(59%)、経済的結びつき(57%)、地理的な近さ(51%)があげられている。年齢別では理由の順位が多少異なり、40代は経済面的結びつき(72%)、65-80歳は文化面での共通性がそれぞれ最も多い。日本を信頼できない理由は、過去数年の調査結果と同じで、主に過去の歴史の経緯があげられた。注目すべきは、日本を信頼できない理由として、文化面での警戒心が前回より13ポイント減少した(26%)。

- 3.日台関係は将来発展すると回答した人は50%(同13ポイント減)。20代~30代の若者にこの傾向が強い。特に、日本は信頼できる、日本に対してプラスのイメージしかない人にその傾向が強い。
- 4.日台関係の発展のため、積極的に推進すべき分野として経済・貿易分野での交流(83%)が最も多く、次に文化分野(68%)と学術分野(64%)での交流があげられている。このうち、40歳以上は日台間で積極的に推進すべきだと考えている各分野の割合が、40歳以下を上回った。
- 5.文化交流で今後積極的に取り組むべき分野は、学術・教育(73%)がトップ。特に40歳以上にその傾向が強く、その次がポップカルチャー(64%)と伝統芸術・芸能(60%)があげられている。
- 6.青少年交流で今後促進すべき分野として、文化・芸術交流(77%)がトップ。その次が留学生交流(71%)とワーキングホリデー等の草の根交流(67%)。40-64歳は促進すべき分野が他の年齢層に比べて多様化している。
- 7.日台間で最も心配に感じている案件は、日本と中国大陸の関係(43%、同9ポイント増)の次に、漁業問題(28%、同2ポイント減少)が続いている。日本と中国大陸との関係と回答した人のうち、86%の人が日本と中国大陸との行き過ぎた対立関係は台湾にとって不利であると回答し、72%の人が尖閣諸島関連を懸念している。

四、東日本大震災による対日意識とイメージへの影響

- 1.2011年に発生した東日本大震災から2年が経過し、日本の食品を購入していると回答した人は76%に達した。このうち、40歳以下の割合が89%に達した。特に、大学/専門学校以上の学歴をもつ人の割合が高い。
- 2.「東日本大震災直後からずっと日本の食品を買うこと控えている」と「震災直後は、日本の食品を買うことを控えていたが、現在は震災前と変わらない」と回答した人の主な原因は、震災で生じた安全性に対する疑念が64%(同23ポイント減)、震災後から現在にかけて、震災によって生じた安全性への疑念が減少していることが分かる。この他、その他品質面の理由(17%)が安全性に対する疑念に次ぐ主な原因となっている。年齢別で見ると、30-64歳は震災による安全性への疑念がその他の年齢層を上回っている。
- 3.東日本大震災は、日本食品を除き、その他日本製品の購入に与えた影響はあまり大きくない。93%の台湾人が震災後も引き続き日本製品を購入していると回答し、台湾人は日本製品に対して相当信頼及び肯定していることが分かる。
- 4.「東日本大震災後に日本製品の購入が減った或いは控えている」と回答した人の主な原因は、震災による安全性への疑念が62%で、日本食品の購入が減少した理由と同じだった。年齢別に見ると、20代は、震災による安全性に対する疑念の他、他の年齢層に比べて円高等の経済要因に敏感であることがわかる。
- 5.旅行面では、東日本大震災後、日本への旅行を控えていたが今は日本への旅行を計画していると回答した人が46%。一方、今でも日本への旅行を控えていると回答した人は27%となっており、その最大の理由は、放射能の影響に対する懸念があげられている(60%、同10ポイント増)。特に男性及び大学/専門学校以上の学歴をもつ人にその傾向が強い。円高及び個人の経済問題による影響は前回より明らかに減少した。

6. 東日本大震災後、日台関係はより密接になったと回答した人は 49%(同 17 ポイント減)、震災後 2 年が経過し、その影響が減少したと推測できる。
7. 今後の日台関係について、経済・貿易分野での交流／産業提携の活発化を望む人が最も多い(24%、同 1 ポイント減)。その次は、テクノロジー関係・ハイテク技能の交流(9%、同 1 ポイント増)。尖閣諸島関連の解決が今年は明らかに増加し第 3 位(8%、同 5 ポイント増)。年齢別で見ると、20 代及び 30 代は、日台が様々な分野での交流と協力を増加させ、友好・安定的な関係を維持するよう期待している。40 歳以上は、日台関係がハイテク分野での交流を強化し、尖閣諸島関連及び農業・漁業面での交流に関する協議に期待している。大学／専門学校以上の学歴をもつ人は、文化・芸術面での交流を比較的重視している。

(以上)